

# 令和2年度 事業報告書

公益財団法人 大阪府文化財センター

# 事業報告書目次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| I 一般庶務.....             | 1  |
| II 埋蔵文化財調査事業.....       | 2  |
| III 文化財資料活用事業.....      | 6  |
| IV 大阪府立弥生文化博物館事業.....   | 12 |
| V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業.....    | 24 |
| VI 泉佐野市立歴史館いずみさの事業..... | 37 |
| VII 日本民家集落博物館事業.....    | 46 |

# 令和2年度 事業報告

## I 一般庶務

### 1. 理事会及び評議員会開催状況

令和2年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。  
定時評議員会については、定款第16条において「毎年度6月に1回開催」とするが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時期を7月に延期した。(内閣府「新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う公益法人の運営に関するお知らせ」令和2年3月12日付)

| 年 月 日      | 会議名称            | 場 所                           | 議 案   |
|------------|-----------------|-------------------------------|---|
| 令和2年7月10日  | 第1回理事会          | 公益財団法人<br>大阪府文化財センター<br>1階講義室 | 1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告<br>2. 令和元年度 事業報告及び収支決算について<br>3. 資産取得資金の変更について<br>4. 定時評議員会の招集事項について                                  |
| 令和2年7月27日  | 定時評議員会          | 公益財団法人<br>大阪府文化財センター<br>1階講義室 | 1. 令和元年度 事業報告及び収支決算について<br>2. 資産取得資金の変更について<br>3. 理事の選任について<br>4. 監事の選任について   |
| 令和2年11月20日 | 第2回理事会          | 公益財団法人<br>大阪府文化財センター<br>1階講義室 | 1. 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告<br>2. 令和2年度 事業の進捗について<br>3. 令和2年度 補正予算書(案)について   |
| 令和3年3月23日  | 第3回理事会          | 公益財団法人<br>大阪府文化財センター<br>1階講義室 | 1. 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告<br>2. 令和2年度 第二次補正予算書(案)について<br>3. 令和3年度 事業計画書(案)、収支予算書(案)、<br>資金調達及び設備投資の見込みについて<br>4. 評議員会の招集事項について |
| 令和3年3月25日  | 第2回(臨時)<br>評議員会 | 書面表決<br>(評議員会の決議の省略)          | 1. 理事1名選任について   |

### 2. 役員・評議員の異動状況

| 年 月 日     | 就 任           | 退 任      |
|-----------|---------------|----------|
| 令和2年4月1日  | 理事長 坂井秀弥 (重任) |          |
| 令和2年4月1日  | 評議員 田邊征夫 (再任) |          |
| 令和2年7月27日 | 理 事 井藤 徹 (再任) |          |
| 令和2年7月27日 | 理 事 今井 渉 (再任) |          |
| 令和2年7月27日 | 理 事 勝真雅之 (新任) |          |
| 令和2年7月27日 | 理 事 舘野和己 (再任) |          |
| 令和2年7月27日 | 理 事 松井宏好 (再任) |          |
| 令和2年7月27日 | 監 事 徳永浩司 (再任) |          |
| 令和3年3月31日 |               | 評議員 勝良憲治 |
| 令和3年3月31日 |               | 理 事 江浦 洋 |

## Ⅱ 埋蔵文化財調査事業

### 1. 調査事業

文化財の保存・活用を目的として、埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理等の事業を下記の通り実施した。

#### (1) 大阪府域

- ① 国土交通省 近畿地方整備局がPFI法に基づき施行する大阪第6地方合同庁舎（仮称）整備等事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 大林組 大阪本店）

| 遺 跡 名         | 委託金額（円）    | 面積（㎡） | 所 在 地  |
|---------------|------------|-------|--------|
| 大坂城跡・難波宮跡〔整理〕 | 18,938,000 | 0     | 大阪市中心部 |

- ② 西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪東事務所が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線（八幡～高槻）建設事業地内の発掘調査

| 遺 跡 名       | 委託金額（円）    | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|-------------|------------|-------|-------|
| 船橋遺跡(3)〔調査〕 | 5,405,000  | 928   | 枚方市   |
| 船橋遺跡〔整理〕    | 22,942,000 | 0     | 枚方市   |

- ③ 西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪西事務所が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線（八幡～高槻）建設事業地内の発掘調査

| 遺 跡 名               | 委託金額（円）    | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|---------------------|------------|-------|-------|
| 上牧遺跡〔整理〕            | 22,273,000 | 0     | 高槻市   |
| 梶原南遺跡(1)〔精算事務のみ〕    | 0          | 0     | 高槻市   |
| 梶原南遺跡(2)〔調査〕        | 23,112,000 | 2,876 | 高槻市   |
| 梶原南遺跡(1・2)〔整理〕      | 6,650,000  | 0     | 高槻市   |
| 金龍寺旧境内跡・梶原地区〔試掘・確認〕 | 2,708,000  | 426   | 高槻市   |
| 成合地区〔契約締結のみ〕        | 0          | 0     | 高槻市   |

- ④ 大阪府都市整備部 枚方土木事務所が施行する京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業地内の発掘調査

| 遺 跡 名       | 委託金額（円）   | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|-------------|-----------|-------|-------|
| 伊加賀遺跡 他〔調査〕 | 8,274,000 | 312   | 枚方市   |

- ⑤ 大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）地内の発掘調査

| 遺 跡 名              | 委託金額（円）    | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|--------------------|------------|-------|-------|
| 大県郡条里遺跡(6) 〔調査〕    | 40,382,000 | 2,907 | 柏原市   |
| 大県郡条里遺跡(7) 〔調査・整理〕 | 32,823,000 | 2,141 | 柏原市   |
| 大県郡条里遺跡(8) 〔調査〕    | 14,724,000 | 950   | 柏原市   |

- ⑥ 豊中市が施行する（仮称）庄内さくら学園整備事業地内の発掘調査

| 遺 跡 名     | 委託金額（円）    | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|-----------|------------|-------|-------|
| 庄内遺跡 〔調査〕 | 63,747,000 | 2,176 | 豊中市   |

- ⑦ 枚方市 上下水道局が施行する中宮浄水場更新事業地内の発掘調査

| 遺 跡 名          | 委託金額（円） | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|----------------|---------|-------|-------|
| 禁野本町遺跡 〔報告書印刷〕 | 555,000 | 0     | 枚方市   |

- ⑧ 門真市が施行する門真市幸福東土地区画整理事業地内の発掘調査

| 遺 跡 名      | 委託金額（円）    | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|------------|------------|-------|-------|
| 普賢寺遺跡 〔調査〕 | 40,711,000 | 6,106 | 門真市   |

- ⑨ J R島本駅西土地区画整理組合が選定した業務代行者の株式会社フジタが施行する北部大阪都市計画事業 J R島本駅西土地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

| 遺 跡 名     | 委託金額（円）    | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|-----------|------------|-------|-------|
| 尾山遺跡 〔調査〕 | 17,588,000 | 7,533 | 島本町   |

- ⑩ 高槻市成合南土地区画整理組合が選定した業務代行者の大和ハウス株式会社が施行する北部大阪都市計画事業 成合南土地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

| 遺 跡 名           | 委託金額（円）    | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|-----------------|------------|-------|-------|
| 金龍寺旧境内跡 〔調査・整理〕 | 26,925,000 | 3,465 | 高槻市   |

- ⑪ イオンタウン株式会社が施行する東芝大阪工場跡地開発 店舗建設事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

| 遺 跡 名        | 委託金額（円）   | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|--------------|-----------|-------|-------|
| 太田遺跡(3) 〔整理〕 | 2,484,000 | 0     | 茨木市   |

- ⑫ 大成建設株式会社・関電不動産開発株式会社・南海電気鉄道株式会社が施行する（仮称）浪速区難波中計画事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

| 遺 跡 名              | 委託金額（円）   | 面積（㎡） | 所 在 地  |
|--------------------|-----------|-------|--------|
| 難波御蔵跡・船出遺跡　〔調査・整理〕 | 6,810,000 | 200   | 大阪市浪速区 |

- ⑬ 星田北土地地区画整理組合が選定した業務代行者の株式会社 大林組、星田駅北土地地区画整理組合が選定した業務代行者の戸田建設株式会社が施行する東部大阪都市計画事業 星田北土地地区画整理事業、ならびに星田駅北土地地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

| 遺 跡 名                               | 委託金額（円） | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|-------------------------------------|---------|-------|-------|
| 平池遺跡・堀之内遺跡・星田駅北遺跡・<br>四馬塚遺跡　〔報告書印刷〕 | 856,500 | 0     | 交野市   |

- ⑭ 松原市新堂4丁目土地地区画整理組合が選定した業務代行者の戸田建設株式会社 大阪支店が施行する松原市新堂4丁目土地地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

| 遺 跡 名        | 委託金額（円） | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|--------------|---------|-------|-------|
| 新堂遺跡　〔報告書印刷〕 | 918,000 | 0     | 松原市   |

- ⑮ 三井不動産株式会社が計画し、株式会社 竹中土木 大阪本店が施行する堺市美原区黒山東事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

| 遺 跡 名             | 委託金額（円）    | 面積（㎡）  | 所 在 地 |
|-------------------|------------|--------|-------|
| 黒山遺跡・太井遺跡　〔調査・整理〕 | 41,199,000 | 15,652 | 堺市美原区 |

## （２）大阪府外

- ① 和歌山市が施行する市民会館（仮称）市民文化交流センター建設事業地内の発掘調査

| 遺 跡 名           | 委託金額（円）    | 面積（㎡） | 所 在 地 |
|-----------------|------------|-------|-------|
| 和歌山城跡 第34次　〔整理〕 | 22,798,000 | 0     | 和歌山市  |

### <令和2年度 調査事業 総計>

|      |              |                      |
|------|--------------|----------------------|
| 受託件数 | 24件          | （令和元年度 27件）          |
| 委託金額 | 442,822,500円 | （令和元年度 441,633,700円） |
| 調査面積 | 45,672㎡      | （令和元年度 54,931㎡）      |

（平成28年度 受託件数 25件 調査面積 31,317㎡）

（平成29年度 受託件数 23件 調査面積 30,836㎡）

（平成30年度 受託件数 21件 調査面積 59,103㎡）

## 2. 技術支援

大阪府外で実施された下記の埋蔵文化財発掘調査について、調査主体である各法人からの依頼に基づいて職員を出向させ、技術支援を行った。

- ① 公益財団法人 かながわ考古学財団が実施する第二東海自動車道横浜名古屋線（新東名高速道路）建設事業、ならびに関連事業地内の発掘調査（平成27年度～）

2名

|          |          |          |       |        |
|----------|----------|----------|-------|--------|
| 上粕屋・秋山遺跡 | 西富岡・中島遺跡 | 西富岡・向畑遺跡 | 神成松遺跡 | 【伊勢原市】 |
| 横野山王原遺跡  | 【秦野市】    |          |       |        |
| 河村新城跡    | 【川北町】    |          |       |        |

### Ⅲ 文化財資料活用事業

#### 1. 文化財講演会事業

(1) 文化財講演会事業 シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

| 実 施<br>年月日 | 内 容   | 対象者 | 会 場                 | 参加<br>人数 | 備 考                                 |
|------------|---|-----|---------------------|----------|-------------------------------------|
| 8. 7       | 講座 遺跡が語る<br>「二上山の石切場で何が作られたかー<br>太子町楠木石切場跡ー」          | 一般  | 近鉄文化<br>サロン         | 33       | 近鉄文化サロン<br>共催<br>コロナ禍で中止<br>になった再開分 |
| 7. 16      | でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活<br>「弥生と古墳の井戸<br>ー井戸の中からみえるモノー」 | 一般  | 近鉄文化<br>サロン         | 16       | 近鉄文化サロン<br>共催                       |
| 8. 20      | 「古墳築造と人の移動」   |     |                     | 38       |                                     |
| 9. 17      | 「古代中国の人びとの暮らし」  |     |                     | 31       |                                     |
| 10. 15     | 「集落出土資料からみた塩生産と流通」                                    |     |                     | 42       |                                     |
| 11. 19     | 「シカ、イノシシ、ヘビ、カエル…表現された動<br>物から古代のこころを「発掘」する」           |     |                     | 34       |                                     |
| 12. 17     | 「威信財生産と流通ー玉・石製品生産と流通ー」                                |     |                     | 40       |                                     |
| 1. 21      | 「弥生時代の稲作」   |     |                     | 36       |                                     |
| 2. 18      | 「古代の市と交易」   |     |                     | 41       |                                     |
| 3. 18      | 「古代びとのあの世への持ち物」                                       |     |                     | 44       |                                     |
| 10. 19     | 歴史文化講座『河内名所図会』と考古学<br>「『河内名所図会』と河内平野の考古学<br>ー王権と玉作部ー」 | 一般  | 羽曳野市<br>陵南の森<br>公民館 | 34       | 陵南の森公民館<br>連携                       |
| 11. 2      | 「『河内名所図会』に描かれた近つ飛鳥と梅鉢陵」                               |     |                     | 32       |                                     |
| 11. 16     | 「『河内名所図会』に描かれた駒ヶ谷金剛輪寺」                                |     |                     | 32       |                                     |
| 1. 18      | 「『河内名所図会』からみた古代寺院」                                    |     |                     | 23       |                                     |
| 2. 8       | 「『河内名所図会』に描かれた妙見寺<br>「采女竹良塋域碑」と「塔ノ石ツエ」」               |     |                     | 21       |                                     |

計 497 名

(2) 連携講演 博物館等外部と連携し、講演会等を次のとおり実施した。

| 実 施<br>年月日 | 内 容          | 対象者 | 会 場           | 参加<br>人数 | 備 考                       |
|------------|--------------|-----|---------------|----------|---------------------------|
| 8. 20      | 「女王卑弥呼と堺・大阪」 | 会員  | 堺市立<br>女性センター | 10       | 堺自由の泉大学<br>歴史探訪と考古学<br>講座 |



| 実 施<br>年月日            | 内 容   | 対象者 | 会 場    | 参加<br>人数   | 備 考  |
|-----------------------|---|-----|--------|--|------|
| R02. 9<br>～<br>R03. 3 | 四天王寺大学「日本学特殊講義 考古学」<br>1 回 考古学入門—考古学とは何か？<br>2 回 考古学と遺跡発掘<br>3 回 考古遺物の資料化<br>4 回 旧石器・縄文時代の考古学<br>5 回 弥生時代の考古学（1）<br>6 回 弥生時代の考古学（2）<br>7 回 古墳時代の考古学（1）<br>8 回 古墳時代の考古学（2）<br>9 回 古墳時代の考古学（3）<br>10 回 飛鳥奈良時代・平安時代の考古学<br>11 回 北と南の考古学<br>12 回 中世社会と考古学<br>13 回 近世の考古学<br>14 回 日本と世界の考古学<br>15 回 近・現代の考古学とまとめ | 学生  | 四天王寺大学 | 37<br>37<br>37<br>37<br>37<br>37<br>37<br>37<br>37<br>37<br>37<br>37<br>37<br>37<br>37 | 履修者数 |

計 565 名

## 2. 現地説明会・現地公開事業

現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

| 実 施<br>年月日 | 内 容       | 対象者              | 会 場             | 参加<br>人数 | 備 考 |
|------------|-----------|------------------|-----------------|----------|-----|
| 8. 7       | 門真市 普賢寺遺跡 | 小中学生・保護者         | 現 場             | 26       |     |
| 10. 3      | 島本町 尾山遺跡  | 一般               | 現 場             | 251      |     |
| 10. 7      | 島本町 尾山遺跡  | 島本町立第三小学校<br>6年生 | 現 場             | 56       |     |
| 11. 18     | 門真市 普賢寺遺跡 | 市関係者・地元関係者       | 現 場             | 52       |     |
| 2. 6～3. 31 | 堺市 黒山遺跡   | 一般               | インターネット<br>動画配信 | 3,871    |     |
| 3. 28      | 豊中市 庄内遺跡  | 一般               | 現 場             | 110      |     |

計 4,366 名

## 3. 文化財体験学習事業

（1）体験学習等 学校教育を支援した。

| 実 施<br>年月日 | 内 容   | 対象者 | 会 場     | 参加<br>人数 | 備 考 |
|------------|---|-----|---------|----------|-----|
| 8. 7       | 桃山学院大学井上ゼミ<br>「埋蔵文化財行政の業務及び考古学の発<br>掘調査について、具体的に学ぶ機会」 | 学生  | 堺市 黒山遺跡 | 2        |     |

| 実 施<br>年月日     | 内 容                              | 対象者 | 会 場                | 参加<br>人数 | 備 考               |
|----------------|----------------------------------|-----|--------------------|----------|-------------------|
| 8. 3<br>～ 8. 7 | 夏期集中講座 「考古学入門」                   | 学生  | 発掘現場および<br>博物館     | 中止       | 大阪府立<br>今宮高等学校    |
| 10. 15         | 日本古代史研究旅行<br>（「A1 フィールドワーク」選択科目） | 学生  | 中部調査事務所<br>近つ飛鳥博物館 | 30       | 私立和光高等学校<br>（東京都） |

計 32 名

## （２）子ども向けの体験

| 実 施<br>年月日 | 内 容                                       | 対象者 | 会 場     | 参加<br>人数 | 備 考           |
|------------|---|-----|---------|----------|---------------|
| 7. 5       | 近鉄百貨店サマーキャンパス<br>まなぼスタジオ<br>「はにわ貯金箱をつくろう」 | 小学生 | あべのハルカス | 1        | 近鉄文化サロン<br>共催 |

計 1 名

## 4. 文化財展示会事業

### （１）博物館等との連携 スポット展示し公開した。

| 実 施<br>年月日                                    | 内 容         | 対象者 | 会 場            | 参加<br>人数 | 備 考  |
|---|-------------|-----|----------------|----------|--|
| 2. 3～ 3. 7<br><br>うち 2. 15～22<br>メンテナンス<br>休館 | ミニ展示「古代の相貌」 | 一般  | 大阪府立<br>狭山池博物館 | 9,313    | 大阪府教育委員会<br>大阪府立狭山池博物館<br>大阪府立弥生文化博物館<br>大阪府立近つ飛鳥博物館<br>共催 |

計 9,313 名

## 5. 文化財広報事業

### （１）当センターの事業年報（令和元年度）の編集・刊行

### （２）ホームページでの当センターの情報提供

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、保管資料の公開、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地説明会・現地公開資料等をホームページに掲載公開した。

### （３）「関西考古学の日」への参加

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成 20 年度を初回として実施したものである。平成 27 年度からは広く小中学生や家族の参加を促すため、夏休み期間から秋季にかけての期間を設定し、講演会等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

### （４）大阪府教職員互助組合 教育雑誌「希隣時」取材

レギュラー企画「再会」において、当センター調査課職員と小学生時代の恩師との対談取材に対応した。長年会っていない恩師と再会し、子どもの頃の思い出や文化・歴史に関わる職業を選んだ動機を語ることに

より、文化振興を発信し、当センターの業務を知っていただく機会にもなった。

## 6. 文化財資料収集整理事業

### (1) 文献及び文化財情報の収集・整理

①令和2年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 購入図書              | 224冊    |
| 研究機関、行政機関等からの寄贈図書 | 2,726冊  |
| センター発行図書          | 8冊      |
| 計                 | 2,958冊  |
| 累計蔵書              | 99,122冊 |

②蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは、総計99,000レコード。

### (2) 文化財情報のデジタル化

報告書に掲載された写真のうち、主にカラー図版の長期保存を図るため、画像データ化し、活用できるようにした。

### (3) 発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

## 7. 文化財資料提供事業

### (1) 発掘資料の出土品、写真等の貸出、資料調査の対応等

#### ①資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり、資料の出品を行った。

| 貸出先               | 展覧会名等                               | 出品資料   |
|-------------------|-------------------------------------|--|
| 大阪府立<br>近つ飛鳥博物館   | 夏季企画展<br>「堂山1号墳―その被葬者像をさぐる―」        | 高宮遺跡、讃良郡条里遺跡、伏尾遺跡：土師器甕、乾式系土器平底鉢、須恵器高杯、須恵器器台、家形埴輪、儀仗（木製品）、鉄鋌、鉄鉢、刀子、鉄剣、鉄鏃  |
| 大阪府立<br>狭山池博物館    | 特別展<br>「発掘された土木技術<br>―大和川流域の開発と水制―」 | 亀井北遺跡、植松遺跡、久宝寺南遺跡、玉櫛遺跡、讃良郡条里遺跡、大坂城址：墨書土器、ミニチュア竈、ミニチュア高杯、ミニチュア壺、土師器甕・鍋、小形鉢、重圈文軒丸瓦、杭、蘇民将来札、絵馬、鉄斧   |
| 神戸市立<br>埋蔵文化財センター | 夏季企画展<br>「骨が語る昔ばなし」                 | 大坂城址：人骨、数珠、六文銭   |
| 大阪府立<br>弥生文化博物館   | 秋季特別展<br>「弥生農耕―田んぼとはたけ―」            | 大県郡条里遺跡、志紀遺跡、若江北遺跡、城山遺跡、亀井遺跡、巨摩遺跡、友井東遺跡、讃良郡条里遺跡、山賀遺跡、西岩田遺跡、新上小阪遺跡、久宝寺遺跡、山賀遺跡、亀井遺跡：突帯文土器、弥生土器壺・甕、移動式竈、甕、管状土錘、横槌、一木鋤、堅杵、大足、釜模型、タモ、木庖丁、木製ヤス、炭化米、石包丁、石鏃、投弾、他 |

| 貸 出 先                    | 展 覧 会 名 等                          | 出 品 資 料  |
|--------------------------|------------------------------------|--|
| 泉佐野市立<br>歴史館いずみさの        | 秋季特別展<br>「天下分け目の樫井合戦<br>～中世から近世へ～」 | 大坂城址：焼塩壺、染付陶磁器、すり鉢、志野灯明具、瀬戸美濃焼天目碗、備前焼建水・水盤、大型土製品、双六駒、将棋駒、人形、櫛、木製刀、筭、目貫、小札、煙管、金箔瓦、桐紋飾瓦、桐紋軒平瓦、木蓋、石製硯、他 |
| 高槻市立<br>今城塚古代歴史館         | 秋冬企画展「三島埴輪総覧」                      | 福井遺跡：埴輪  |
| 高槻市立<br>今城塚古代歴史館         | トピック展「安満山の前期古墳」                    | 井尻遺跡：石釧  |
| 交野市立教育文化会館内<br>歴史民俗資料展示室 | 特別展<br>「遺跡からみる交野と<br>その周辺の戦国時代」    | 私部南遺跡：鉄砲玉、四ツ目錐、鉄鏃、小柄   |
| 堺市博物館                    | 特別展<br>「海を越えたつながり<br>—倭の五王と東アジア—」  | 久宝寺遺跡、下田遺跡、上私部遺跡、三宅西遺跡：準構造船復元模型、準構造船縮尺模型、櫓、新羅土器、百濟土器、他   |
| 高槻市立<br>今城塚古代歴史館         | 安満遺跡公園全面開園記念特別展<br>「安満遺跡と近畿の弥生時代」  | 成合遺跡、萩之庄南遺跡、梶原古墳群、讃良郡条里遺跡、若江北遺跡、私部南遺跡：短頸壺、甕、有段口縁大型壺、高杯、鉢、鉄鏃、石鏃、石包丁、砥石、石棒、他                           |

10 件

計 345 点

## ②常設展示資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり常設展示の資料の出品を行った。

大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立狭山池博物館、泉佐野市立歴史館いずみさの、和泉市立いずみの国歴史館、堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、吹田市立博物館、太子町立竹内街道歴史資料館、国立歴史民俗博物館、舞鶴市立赤れんが博物館

計 11 件 286 点

## ③写真資料の貸出

行政機関の他、出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

大阪府教育委員会、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立狭山池博物館、大阪歴史博物館、大阪市立大学史資料設立準備委員会、泉佐野市立歴史館いずみさの、堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、泉大津市教育委員会、公益財団法人八尾市文化財調査研究会、高槻市立今城塚古代歴史館、交野市教育委員会、国立歴史民俗博物館、神戸市立埋蔵文化財センター、尼崎市立田能資料館、渡来人歴史館、愛知県陶磁美術館、大韓民国国立中央博物館、木簡学会、同志社大学東京オフィス、NPO 法人むきばんだ応援団、かみゆ、一般社団法人なら文化交流機構、朝日新聞出版、新泉社、小学館、ニューサイエンス社、臨川書店、学研、島田組、朝日カルチャーセンター名古屋、サイバーネットコミュニケーション株式会社、イオンモール堺北花田、西日本旅客鉄道、NHK 制作部、日本放送協会ほか、テレビ局等

計 59 件 239 点

## ④資料調査対応

研究者、専攻学生、博物館等から研究のためや展示借用予定資料の事前調査に対応した。

大阪府立近つ飛鳥博物館 1、大阪府立弥生文化博物館 1、大阪府立狭山池博物館 1、泉佐野市立歴史館いずみさの 1、大阪歴史博物館 1、高槻市立今城塚古代歴史館 2、交野市教育委員会 1、島根県立古代出雲歴史博物館 1、大阪市立大学学生 1、奈良女子大学教員 1、滋賀県立大学教員 1、駒沢大学教員 1、南山

大学人類学研究所1、京都大学学生3、滋賀県立大学学生1、奈良大学学生1、出土銭貨研究会1

計20件

⑤原稿等執筆協力

『木簡研究』木簡学会

「2019年度出土の木簡」「船橋遺跡（18-1次）」

『新版 八尾市史 考古編2』八尾市

「弥生開始期の具体相」「初期水田－水稻農耕の始まり－」「環濠集落の形成と墓制」「生駒山西麓産土器とその動態」「条里地割のはじまり」「市域の平安時代後期以降の寺院と出土瓦」「平等院で使われた河内向山系瓦と向山瓦窯」「大和川付け替え前後の水田」

計2件

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・頒布・ミュージアムグッズ頒布

①図書の出版・頒布

令和2年度、下記の図書を出版した。

- 1 第303集 新堂遺跡（松原市文化財報告 第8冊 松原市教育委員会）
- 2 第304集 禁野本町遺跡Ⅶ（枚方市文化財調査報告 第91集 枚方市）
- 3 第305集 平池遺跡・堀之内遺跡（交野市埋蔵文化財調査報告 2020-I 交野市教育委員会）
- 4 第306集 星田駅北遺跡・平池遺跡・四馬塚遺跡・東高野街道  
（交野市埋蔵文化財調査報告 2020-II 交野市教育委員会）
- 5 第307集 大坂城跡8
- 6 第308集 太田遺跡・太田遺跡・太田城跡1（茨木市文化財資料集 第78集 茨木市教育委員会）
- 7 年報 令和元年度
- 8 大阪文化財研究 第54号
- 9 大阪府教育庁文化財調査事務所年報24
- 10 弥生文化博物館 秋季特別展「弥生農耕－田んぼとはたけ－」
- 11 近つ飛鳥博物館 夏季企画展「堂山1号墳－その被葬者像をさぐる－」
- 12 近つ飛鳥博物館 秋季企画展「王権麾下の古墳とその被葬者－古市古墳群の小規模墳－」
- 13 近つ飛鳥博物館 館報24

※9については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

②図書の頒布

博物館において来館者サービスの一環として、展示に関連した各出版社の書籍を委託頒布した。

③博物館における関連グッズ頒布

博物館において来館者サービスの一環として、魅力あるミュージアムグッズの頒布をおこなった。

## 8. 文化財研究事業

(1) 近畿ブロック埋文研修会

令和2年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

## IV 大阪府立弥生文化博物館事業

### 1. 展示公開事業

#### (1) 常設展示

第1展示室は、「目で見える弥生文化」の導入ゾーン、「コメづくりの始まり」「新しい技術の誕生」「ムラ・戦い・クニ」「弥生人」「交流」「死とまつり」のテーマゾーン、卑弥呼像を中心としたシンボルゾーンで、弥生文化をビジュアル的に展示した。

第2展示室は「池上曽根ワールド」と題して、国史跡池上曽根遺跡から出土した資料を展示した。

#### (2) 特別展・企画展

##### ①夏季企画展「とんぼ玉100人展－煌めく技、艶めく心－」 【入館者数：5,544名 69名／日】

ア. 開催概要 ガラス工芸のなかでも、ひととき繊細な輝きを放つとんぼ玉。本展では、瑞々しい感性と確かな技術に裏打ちされた現代作家たちの作品を一堂に集め展示した。

イ. 開催期間 6月27日（土）～9月27日（日） 【会期：80日間】

ウ. その他

とんぼ玉制作実演

9月6日（日） 「ライン置きで作る帯留」 西川友敬氏 【参加者数：31名】

9月21日（月祝） 「中級者向けの技とコツ」 崎山高輝氏 【参加者数：56名】

9月22日（火祝） 「楽しいバーナーワーク」 増井敏雅氏 【参加者数：54名】

##### ②秋季特別展「弥生農耕－田んぼとはたけ－」 【入館者数：4,082名 73名／日】

ア. 開催概要 水田稲作は弥生文化のシンボルである。これまでの長い研究の中でその実態はかなり明らかになってきた。しかし、新たな遺跡の発掘や新しい分析手法の導入のたびに、深まる謎も依然大きい。本展では、水田の姿から耕作の道具、さらには収穫して、食すまで、コメに関わる諸問題を現在の視点でみつめ直した。また、その存在がみえてきた弥生時代の畠作についても考えた。

イ. 開催期間 10月10日（土）～12月13日（日） 【会期：56日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 展示解説 1階ホールにおいて学芸員による展示の見どころ解説を実施した。

10月24日（土）、11月3日（火祝）、21日（土）、12月5日（土）

【参加者数：計100名】

##### ③冬季企画展「泉州を貫く軌跡－阪和電鉄全通90周年－」 【入館者数：4,121名 66名／日】

ア. 開催概要 大阪（天王寺）と和歌山間を結ぶ現在のJR阪和線の前身は、阪和電気鉄道である。1929年に和泉府中まで開通し、翌年1930年には、和歌山まで鉄道が全通となった。全通90周年にあたる今年度に、当時の資料を用いて、阪和電鉄の歴史を辿る旅へ案内した。

イ. 開催期間 令和3年1月16日（土）～3月28日（日） 【会期：62日間】



ウ．展示解説 1 階ホールにおいて学芸員による展示の見どころ解説を実施した。

1 月 30 日（土）、2 月 20 日（土）、3 月 13 日（土） 【参加者数：合計 72 名】

### （３）スポット展示

#### ①スポット展示

2 階特別展示室前において、「脇浜遺跡」に関するスポット展示を実施した。高等学校の授業で実施した塩づくりについての展示も同時に行った。 【入館者数：3,392 名】

ア．開催概要 「和泉の塩作り 脇浜遺跡」  
「大阪府立貝塚高等学校 泉州史学 塩作り」

イ．開催期間 6 月 27 日（土）～8 月 30 日（日） 【会期：56 日間】

#### ②弥生プラザ

弥生時代遺跡の速報展示コーナーにおいて、下記の展示を実施した。

「古墳時代の池上曾根遺跡」 令和元年 11 月 9 日（土）～令和 2 年 4 月 23 日（木）

「府内出土の漁撈具」 令和 2 年 4 月 24 日（金）～11 月 29 日（日）

「国府遺跡あれこれ」 令和 2 年 12 月 2 日（水）～令和 3 年 5 月 30 日（日）

## 2. 講演会事業

### （１）特別展・企画展関連の講演会

#### ①秋季特別展「弥生農耕－田んぼとはたけ－」

10 月 31 日（土） 「弥生農耕、近畿における始まり方①－副館長見解」 【参加者数：53 名】  
秋山浩三（当館副館長）

11 月 14 日（土） 「弥生農耕、近畿における始まり方②－学芸課長見解」 【参加者数：45 名】  
三好孝一（当館学芸課長）

#### ②冬季企画展「泉州を貫く軌跡－阪和電鉄全通 90 周年－」

1 月 16 日（土） 「阪和電気鉄道の会社設立から本線全通まで」 【参加者数：34 名】  
竹田辰男氏（『阪和電気鉄道史』著者）

2 月 13 日（土） 「鉄道考古学の出発点－「新橋停車場」の発掘成果をふりかえりつつ－」 【参加者数：38 名】  
秋山浩三（当館副館長）

3 月 6 日（土） 「阪和電鉄の痕跡を探る」 【参加者数：80 名】  
駒井正明（（公財）大阪府文化財センター主査）

3 月 27 日（土） 「阪和電気鉄道による利用者誘致の取り組み  
－イベント・アクセス・スピードの視点から－」 【参加者数：42 名】  
高瀬裕太（当館学芸員）・塩崎 亨（同教育専門員）・幸山綾子（同学芸スタッフ）

## (2) 「木曜大学」などの講座

①木曜大学 今年度は例年通りの実施を取りやめ、特別講義として実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、参加人数に制限を設け、両講師ともに同内容の講義を2回ずつ行った。また、希望者に対して、秋山副館長講義予定分の資料を配付した。

12月24日(木)・1月21日(木) 「卑弥呼と鬼道」 黒崎 直(当館名誉館長)

【参加者数計:64名】

12月17日(木)・1月14日(木) 「改めて『魏志倭人伝』とは」 禰宜田佳男(当館館長)

【参加者数計:63名】

【4回参加者数計:127名】

②木曜大学大学院 令和元年度から予定していた下記の講義については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する緊急事態宣言ならびにその後の緊急施設点検での臨時休館により、すべて中止とした。

テーマ 「魏志倭人伝を読む」第1期「考古学から倭人伝の国々を考える」

講師 禰宜田佳男(当館館長)

4月9日(木) 「世々王有る「伊都国」」

4月23日(木) 「二万余戸有る「奴国」」

5月14日(木) 「南して「投馬国」」

5月28日(木) 「女王に属せず「狗奴国」」

## (3) 弥生時代講座

弥生時代の研究グループ「近畿弥生の会」と連携し、弥生時代の講座を実施した。

10月17日(土) 「ヤジリの変容・高地性集落の出現と弥生時代の『争い』」 【参加者数:54名】

園原悠斗(公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部技術職員)

12月19日(土) 「弥生の木材ネットワーク」 【参加者数:60名】

鶴来航介(京都大学大学院文学研究科非常勤講師)

2月6日(土) 「弥生時代のはじまりと東北アジア」(リモート講演) 【参加者数:88名】

三阪一徳(岡山理科大学学芸員教育センター講師) 【3回参加者数計:202名】

## 3. 学校教育との連携事業

### (1) 小中学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館案内DVDの貸出しを行うことで事前学習の一助とした。見学により充実したものにしてもらうため、ホームページ上に8種類のワークシートを用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員等が冒頭解説を行い、展示室での学習を支援した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から8月末まで団体見学の受け入れを中止し、9月から再開した。

・下見説明会 4月2日(木)3校 【参加者:8名】 4月3日(金)1校 【参加者:3名】



## ・小学校/支援学校

【18校 18件 入館者数：1,188名】

〈和泉市〉いぶき野・南横山・横山〈泉大津市〉楠・戎・上条〈大阪市〉生野南・北巽・栄・遠里  
小野・阪南〈泉南市〉新家東・西信達〈堺市〉御池台〈貝塚市〉南〈阪南市〉旭〈和歌山県海南市〉  
亀川〈府立〉堺聴覚支援

## ・中学校

【受け入れなし】

・その他団体 年輪大学、泉州地区和泉第2団ボーイスカウトカブ隊、泉大津市立池上曾根学習館、  
朝日カルチャーセンター中之島

【4団体 入館者数：72名】

### ① 体験ゾーンの活用

弥生文化に親しみをもってもらうため、小中学生をはじめとする団体利用者に対し、屋外に設置  
した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。

【9団体 20件 利用者数：640名】

## （2）「博物館 in school」事業

### ①出前授業

教育専門員・学芸員・学芸スタッフが学校等に出向いて授業を行った。団体見学の受入と同様に  
9月から再開した。

【6回 実績：116名】

〈大阪市〉花乃井中学校〈岸和田市〉東葛城小学校・児童発達支援放課後等デイサービス HUGS〈枚  
方市〉交北小学校〈府立〉堺聴覚支援

## （3）博学連携事業

### ①博学連携セミナー

例年夏休み期間中に、教員対象の特別展解説、テーマ講演、高校生を対象としたセミナー等を実  
施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見合わせた。

### ②教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館に誘致し、連携を深める試みを実施しているが、新型コロナウ  
イルス感染症拡大防止のため、受け入れ希望団体はなかった。

### ③中学生の職場体験学習

将来の職業選択の参考とする体験学習の支援を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防  
止のため、受け入れ希望はなかった。

### ④大学生博物館実習

各大学からの依頼を受けて実習生等を受け入れ、博物館の実務などについて指導した。

8月 8日（土）～8月13日（木） 博物館実習 【14大学33名】

9月 3日（木） 大阪大谷大学 【19名】

12月 5日（土） 桃山学院大学 【5名】

### ⑤高校生の講座等

9月 4日（金） 大阪府立今宮高等学校「歴史探求」 【10名】

10月15日（木） 和光高等学校「日本古代史研究旅行」近つ飛鳥博物館にて銅鏡鑄造体験実施  
【30名】

## ⑥研究事業

1. 大学等の研究者と学術交流を行った。【98名／内海外研究者1名】
2. 他博物館、大学、研究機関、学会、研究会、企業などと連携した研究活動を行った。
  - ・弘前大学人文社会学部北日本考古学研究センターとの共同研究  
「出土米の形態・DNA分析調査」

## 4. 「でかける博物館」事業

### (1) 出張展示

- ①大阪府立中央図書館 「『卑弥呼の時代を描こう』優秀作品展」 【入館者数：28,962名】  
開催期間 8月18日（火）～ 9月15日（火）
- ②大阪府立狭山池博物館 「令和2年度ミニ展示『古代の相貌』」 【入館者数：9,313名】  
開催期間 2月3日（水）～ 3月7日（日）  
(2/15～2/22 メンテナンス休館)

### (2) 学芸員の出張講演・講座

当館学芸員が講演・授業等を行った。

- ①近鉄文化サロン でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活 7  
7月16日（木）「弥生と古墳の井戸ー井戸の中から見えるモノー」  
高瀬裕太（当館学芸員） 【参加者数：16名】  
9月17日（木）「古代中国の人びとのくらし」飯村 円（当館学芸員） 【参加者数：31名】  
11月19日（木）「シカ、イノシシ、ヘビ、カエル…表現された動物から古代人のこころを「発掘」する」  
禰亘田佳男（当館館長） 【参加者数：34名】  
1月21日（木）「弥生時代の稲作」塚本浩司（当館総括学芸員） 【参加者数：36名】  
3月18日（木）「古代びとのあの世への持ち物」秋山浩三（当館副館長） 【参加者数：44名】
- ②天王寺大学「考古学」ー考古学基礎入門ー  
10月13日（火）「遺物の資料化ー出土した遺物をいかに資料にするかー」 【参加者数：37名】  
11月10日（火）「弥生時代の考古学（2）ー金属器の導入とその文化、銅鐸・銅剣・銅矛ー」  
【参加者数：37名】

その他、リモート講義等を実施。

- 10月20日（火）「旧石器・縄文時代の考古学ー人類誕生と日本列島の農耕以前の社会ー」
- 10月27日（火）「弥生時代の考古学（1）ー農耕文化の展開と卑弥呼の時代ー」
- 12月15日（火）「北と南の考古学ー考古学からみた北海道と北方世界、南西諸島の歴史ー」
- 12月22日（火）「中世社会と考古学ー河内の中世と考古資料ー」

※10/13、11/10、12/22 は三好孝一（当館学芸課長）、10/20、27、12/15 は塚本浩司（当館総括学芸員）が担当。

### (3) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出展した。

- ①ミニ実習 7月24日（金祝） 【参加者数：18名】

内容・連携先 「泥面子をつくろう！」 きしわだ自然資料館

②子育て応援プロジェクト～おうちでワークショップ～ 7月29日（水）～8月18日（火）

【参加者数:746名】

内容・連携先 「子どもワークシート 探れ！キミの顔」、「たてばんこ」配布  
大阪府住宅供給公社

③まなぼスタジオ 8月9日（日）

【中止】

内容・連携先 「銅鐸風鈴をつくろう」 近鉄文化サロン阿倍野

④はにコット vol.9.5「古代きやら大集合！！」 11月21日（土）

【参加者数:35,000名（イベント総参加者数）】

内容・連携先 「館キャラによる館の紹介（オンラインイベント）」  
はにコット実行委員会

⑤はくふだまつり 2020～貝塚場所～ 11月23日（月祝）

【参加者数:31名】

内容・連携先 「木庖丁をつくろう！」 貝塚市歴史展示館

## 5. 「府民が参加する博物館」事業

### （1）ミュージアムコンサート

「音楽のきこえる博物館」のコンセプトのもと、エントランスホールにおいて、さまざまなジャンルのコンサートを以下の通り予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて中止とした。出演予定者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会が行った。

運営委員：稲本 直（コンサート企画）、田中寛治（社会教育）、西川光子（ピアノ）

- 9月5日（土） トワイライトコンサート「歌旅日本～時空を超えて～」
- 9月13日（日） 「陰山裕美子 大槻知世デュオコンサート～心温まる名曲の数々を～」
- 9月20日（日） 「ラララ ダンス！」
- 10月4日（日） 「管と弦とピアノの饗宴」
- 10月25日（日） 「ピアノ&木管五重奏 ホルンって金管ちゃうんっすか？小林さん！」
- 11月1日（日） 「フルート・クラリネット・ピアノによるトリオリサイタル～アメリカ音楽よりガーシュウィンを中心に～」
- 11月8日（日） 「みんな一緒に楽しもう！オカリナアンサンブル！」
- 11月29日（日） やよいミュージアムコンサート The 400th Anniversary Concert  
「彩りの奏で つらなる時と輝き」
- 12月6日（日） 「～1日限りのスペシャルアンサンブル～日曜日のクリスマス音楽会」
- 12月20日（日） 「子どもたちとともに クリスマスを…Vol. 5」
- 1月10日（日） 「新春告げるは弦の響き ようこそ、津軽三味線の世界へ」
- 1月24日（日） 「昭和ポップス黄金時代（70年代）の足跡を追う」
- 2月14日（日） 「目華子ピアノ・リサイタル～深遠なるベートーヴェン～」
- 2月21日（日） 「笛吹きからの贈り物～春の陽光（ひかり）に導かれて～」

- 2月28日(日) 「邦楽アンサンブル KOTOnier の世界～和楽器で奏でる心を癒す名曲集♪～」
- 3月7日(日) 「デュオコンサート～ピアノで奏でる春の調べ～」
- 3月14日(日) 「魅惑のサクソ・哀愁のクラリネット・弾むピアノ・燃えるパーカッションの異色アンサンブル」

## (2) ミニギャラリー

エントランスホールにおいて、絵画等の作品展や冬季企画展関連の展示を行った。

- 6月27日(土)～8月30日(日) 「アカニシ de 貝染め」 【入館者数：3,392名】
- 12月1日(火)～12月13日(日) 「第13回 いずみきらめき作品展」 【入館者数：719名】
- 2月2日(火)～3月28日(日) 「駅弁と旅のお伴」 【入館者数：3,464名】
- ー汽車土瓶からシンカンセンスゴイカタイアイスへー

## (3) こどもファーストデイ(みんないっしょに考古楽)

大阪府・大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から8月迄開催を中止し、その後も「土器・銅鐸パズル」については、実施を見合わせた。

【参加者数：合計73名】

- |           |                 |           |               |
|-----------|-----------------|-----------|---------------|
| 4月18日(土)  | 「弥生の弓矢体験」       | 5月16日(土)  | 「ねらえ！ピッチング古代」 |
| 6月20日(土)  | 「石器を使ってみよう」     | 7月18日(土)  | 「銅鐸風鈴をつくろう」   |
| 8月15日(土)  | 「弥生博の宝べやを探検しよう」 | 以上、中止。    |               |
| 9月19日(土)  | 「弥生の火おこし体験」     | 10月17日(土) | 「石器を使ってみよう」   |
| 11月21日(土) | 「弥生の米つき体験」      | 12月19日(土) | 「弥生の弓矢体験」     |
| 1月16日(土)  | 「土器をさわってみよう」    | 2月20日(土)  | 「ねらえ！ピッチング古代」 |
| 3月20日(土)  | 「弥生の弓矢体験」       |           |               |

## (4) ボランティア活動および研修

講演会・ワークショップ・体験学習・出前授業などの事業へのボランティア活動について、自宅における翻訳支援以外のすべての活動を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため見合わせた。

## (5) 大学・企業・NPO 法人との協働

「夏休みフェスティバル」「関西文化の日」「冬のやよいミュージアム」等のワークショップイベントを中止したため、大学・企業との協働は叶わなかった。一方、NPO「はにコット」主催のオンラインイベントに参加することにより、コロナ禍における連携を模索することができた。

## (6) 子ども一日館長

近隣小学校の児童を一日館長に任命し、任命式、宝べやツアー等の行事の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見合わせた。

## (7) 絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵画作品を募集し、優秀作品をエントランスホールで展示した。

開催期間：8月1日（土）～8月15日（土）

【入館者数：1,013名】

審査員：小灘一紀（画家・日展評議員）、石橋敏彦（元泉大津市立条南小学校校長）

① 応募締切：6月14日（日）

② 応募点数：3点

③ 表彰式：8月1日（土） 「倭国」西 悠希（泉大津市立誠風中学校3年）

「倉庫」田中元彬（茨木市立中津小学校1年）

「大きな村」田中日奈子（茨木市立中津小学校4年）

## 6. 広報普及事業

### （1）展覧会、イベント開催のポスターチラシの配布

各展覧会、イベント開催にあわせ、ポスターやチラシを作成し、学校、公民館をはじめ、関係諸機関に配付した。

### （2）無料入館チラシの配付

出前授業などで学校を訪問した際には、各生徒に家族と入館できる当館の紹介チラシを配付し、博物館に来館するきっかけをつくった。

### （3）広報活動の活発な展開

・校外学習や出前授業等、博物館活動について、小学校への個別訪問や校長会等を通じて案内した。

【85件】

・各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

・和泉市・泉大津市の協力により、広報誌に当館の行事案内を掲載した。また、和泉市いずみの国観光おもてなし処（和泉府中、和泉中央）において、各催しのチラシ等を配布し、和泉市の観光情報サイト「SATOMATI IZUMI」に当館の催し情報を掲出する等の広報活動を実施した。

・共同で指定管理を担う近鉄ビルサービス株式会社のグループ関連企業「近鉄文化サロン」において、「でかける博物館講座」を共催し、広報・企画部門において協力を得た。

## 7. サービス向上事業

### （1）マーケットリサーチの実施

よりよい博物館運営を行うため、特別展、講演会等においてアンケートを実施し、来館者の要望や展示内容への疑問などの把握に努めた。

#### 【意見と対応】

・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として実施している、解説モニターの使用休止に関する改善等。

⇒非接触空中ディスプレイを導入し、一部分ではあるが、コロナ禍におけるデジタル機器の安全な

利用環境を整備した。

## **(2) インターネットホームページ**

ホームページおよびフェイスブック、インスタグラムにおいて、特別展、企画展、催し等に関する情報発信を行った。

【年間アクセス件数：122,096件】

### **①オンラインを活用した動画の作成・配信**

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による移動の自粛等のため来館できない事態などへの対応として、ホームページ、ユーチューブ、フェイスブック等を活用して展覧会の動画を配信した。当館について興味を持っていただき、将来の来館への動機づけや当館展示への理解を促進させた。

12月11日（金） 秋季特別展「弥生農耕―田んぼとはたけ―」解説動画

1月22日（金） 冬季企画展「泉州を貫く軌跡―阪和電鉄全通90周年―」解説動画①

2月6日（土） 冬季企画展「泉州を貫く軌跡―阪和電鉄全通90周年―」解説動画②

2月16日（火） 冬季企画展「泉州を貫く軌跡―阪和電鉄全通90周年―」解説動画③

2月26日（金） 冬季企画展「泉州を貫く軌跡―阪和電鉄全通90周年―」解説動画④

【5件】

## **(3) ミュージアムカレンダー**

館行事を広く周知するため、行事予定をカレンダーにして作成し、関係諸機関に配付した。

## **(4) 遺跡見学ツアー**

民間旅行会社と連携し、特別展関連の遺跡を見学する考古学ツアーを計画・実施した。

「駿河・伊豆の弥生遺跡と古墳を巡る旅」

【参加者数：18名】

12月2日（水）～12月4日（金） 国際交流サービス／同行講師：塚本浩司（当館総括学芸員）

## **(5) 音声ガイドの無料貸出**

音声ガイド（日本語・英語）および館キャラクター「カイト」と「リュウさん」による音声ガイド（日本語・英語・韓国語・中国語）を用意しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、貸し出しを見合わせた。

## **(6) 子どもにもわかりやすい解説**

館キャラクター「カイト」と「リュウさん」による弥生時代を解説する「4コママンガ」と「弥生博アニメ」をホームページに掲載した。加えて、新コンテンツ「弥生クイズ―卑弥呼からの依頼」を作成し、コロナ禍におけるオンラインでの利用促進を図った。一方、館内のデジタルサイネージの利用、VRブースにおいての遺跡VRによる遺跡情報の提供、ICタグをかざすだけの簡便なアクセス方法を利用した展示巡回システムによるコンテンツの提供は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見合わせた。

## **(7) 解説リーフレット・シートの配布、図録等の出版、要覧作成**

展示観覧の補助となるリーフレット、解説シートを作成した。展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、展覧会図録等を発行し、関係機関に配付した。また、館の活動を報告し、博物館に対する府民の理解を得るため、『令和元年度弥生文化博物館要覧』（令和3年3月31日発行）を作



成した。

## **(8) 学芸員による展示解説**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三密となる展示室における解説は行わず、代わって参加人数を限り、1階ホールにおいて特別展、企画展の見どころ解説を実施した。

## **8. 府施策協力事業**

### **(1) こどもファーストデイ（みんないっしょに考古案）**

（5. 府民が参加する博物館事業項目に記載）

### **(2) 池上曽根史跡公園、池上曽根弥生学習館と一体となった事業**

サテライトミュージアムにおいて、下記の展示を行った。

①和泉市池上曽根弥生情報館 当館所蔵資料の展示 【入館者数：59,199名】

開催期間 4月1日（水）～ 3月31日（水）

※4月1日～5月31日臨時休館

②泉大津市池上曽根弥生学習館 当館所蔵資料の展示 【入館者数：5,321名】

開催期間 4月1日（水）～ 3月31日（水）

※4月1日～5月31日臨時休館

### **(3) 他館との連携事業**

泉州紀北ミュージアムネットワーク加盟館である貝塚市歴史展示館における、「はくふだまつり 2020～貝塚場所～」に参加し、ワークショップを実施した。

### **(4) 障がい者等への利用援助**

支援学校の校外学習に際して柔軟な対応で解説や体験を実施した。

### **(5) 池上曽根史跡公園の活用**

博物館実習のプログラムに取り入れるなどして、学芸員の解説による史跡公園の見学を実施した。

## **9. 管理事業**

### **(1) 日常的管理**

指定管理共同企業体の近鉄ビルサービス株式会社と共に、施設管理年間計画を策定し、定期点検等、施設管理を行った。また、経年劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し、所管課（大阪府教育庁文化財保護課）に改善を提案した。急を要するものや、来館者の満足度向上に資すると思われるものについては、下記の修理等を実施した。

ア. 屋上防水工事（特別展示室東西空洞部分及び笠木部分）

イ. ガス吸収式冷温水機（空調設備）不調による応急抽気作業と調査及び真空漏れ修理

ウ. 屋上冷却塔の給水配管交換

エ. 男子トイレ小便器自動洗浄装置のセンサー交換

オ. 第1展示室映像放映用PCのUPS（無停電電源装置）交換

カ. 消火器の更新（耐圧試験及び機能点検該当分）

キ. 館内主要箇所の抗ウィルスコーティング施工（新型コロナウイルス対策）

## **（２）図書資料管理・収集**

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。また、「国際ソロプチミスト大阪ーいずみ」からの寄附によって、専門図書を購入し、開架図書の充実を図った。今年度は寄附団体の認証 30 周年を記念して、図書コーナーに新たな書架の寄贈を受け入れた。

## **（３）館蔵資料の貸出し**

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像ほか）を全国各地の博物館等へ貸出し所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。【資料 2 件・20 点／写真 51 件・102 点】

## **（４）学芸研修**

外部の各種研修への参加は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見送ることとした。

## **（５）ミュージアムスタッフの人材育成**

「府立博物館における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」に従って博物館を安全に運営するため、来館者に対する応対を朝礼等で共有した。

## **（６）人権研修・消防訓練**

人権啓発用ソフト（教材）の視聴によって、職員の人権研修を実施した。

3 月 17 日（水）、18 日（木）、19 日（金）

消防計画に基づいて、和泉市消防署の指導による自衛消防訓練研修を実施した。12 月 25 日（金）



## 10. 入館者数及び入館料一覧表

(令和2年度)

| 区 分    | 入館者数 (名) |       |        | 入館料<br>(円・税込) | 開館日数<br>(日) |
|--------|----------|-------|--------|---------------|-------------|
|        | 有 料      | 無 料   | 合 計    |               |             |
| 常 設 展  | 370      | 763   | 1,133  | 86,230        | 27          |
| 割合 (%) | 6.4      | 8.4   | 7.6    |               |             |
| 夏季企画展  | 2,340    | 3,204 | 5,544  | 847,790       | 80          |
| 割合 (%) | 40.8     | 35.0  | 37.3   |               |             |
| 秋季特別展  | 1,122    | 2,960 | 4,082  | 536,820       | 56          |
| 割合 (%) | 19.6     | 32.4  | 27.4   |               |             |
| 冬季企画展  | 1,908    | 2,213 | 4,121  | 689,090       | 62          |
| 割合 (%) | 33.2     | 24.2  | 27.7   |               |             |
| 合 計    | 5,740    | 9,140 | 14,880 | 2,159,930     | 225         |
| 割合 (%) | 100.0    | 100.0 | 100.0  |               |             |

<年度比較>

|          |        |           |     |
|----------|--------|-----------|-----|
| 令和元年度実績  | 38,310 | 3,223,140 | 277 |
| 平成30年度実績 | 52,401 | 5,073,390 | 299 |
| 平成29年度実績 | 45,341 | 3,575,950 | 305 |

※臨時休館

4月1日(水)～5月20日(水)の43日間 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため  
5月21日(木)～6月26日(金)の32日間 施設緊急点検のため  
9月29日(火)～10月2日(金)の4日間 設備緊急点検のため  
12月25日(金)～27日(日)の3日間 施設点検のため

## V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

### 1. 展示公開事業

#### (1) 常設展示

「日本古代国家の形成過程と国際交流をさぐる」をメインテーマに、『近つ飛鳥と国際交流』、『古代国家の源流』、『現代科学と文化遺産』の3ゾーンで大阪府を中心とする古墳時代から飛鳥時代の古墳文化をビジュアルに展示した。

#### (2) 企画展

##### ①夏季企画展「堂山1号墳—その被葬者像をさぐる—」

【総入館者数 7,976名・展示室入館者数 3,373名・展示室 76名/日】

ア. 開催趣旨 堂山1号墳(大東市)は、百舌鳥・古市古墳群との関わりも指摘され、それまで有力な古墳が見られなかった地域に造られた多量の鉄製品を副葬する古墳として知られています。今回の展示では、堂山1号墳出土鉄製品を展示するとともに関連資料を展示し、大型古墳群の出現と関連する小規模墳の様相を考えた。

イ. 開催期間 7月18日(土)～9月6日(日) 【会期:44日間】

※当初は7月11日(土)～9月6日(日)【会期:50日間】を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開始を7月18日に変更し、会期を6日間短縮した。

ウ. 印刷物 図録『堂山1号墳—その被葬者像をさぐる—』、リーフレット

エ. 学芸員・音声ガイドによる展示解説

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず、展示室で解説動画を放映した。

##### ②秋季企画展「王権麾下の古墳とその被葬者—古市古墳群の小規模墳—」

【総入館者数 12,378名・展示室入館者数 4,524名・展示室 90名/日】

ア. 開催趣旨 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群には、大王墓と目される大型前方後円墳の周囲に配される、陪冢と考えられる円墳や方墳、小規模墳で構成される古墳群などがみられる。今回の展示では、最近の調査、研究成果や従来から蓄積された資料を紹介するとともに、こうした古墳の被葬者やその役割について考えた。

イ. 開催期間 10月3日(土)～11月29日(日) 【会期:49日間】

ウ. 印刷物 図録『王権麾下の古墳とその被葬者—古市古墳群の小規模墳—』、リーフレット

エ. 学芸員・音声ガイドによる展示解説

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず、展示室で解説動画を放映した。

#### (3) 特別陳列・連携展示

##### ①春季特別陳列「青山古墳群の埴輪」

【総入館者数 5,401名・展示室入館者数 1,538名・展示室 45名/日】

ア. 開催趣旨 世界文化遺産に登録された古市古墳群には、大型前方後円墳を頂点とし、大小さまざまな規模で多様な墳形の古墳がみられ、墳形と規模により古墳が造り分けられていると考えられている。今回の展示では、古市古墳群内に所在する、小規模古墳から成る青山古墳群で出土した埴輪(館蔵資料)を展示し、古市古墳群の性格を考えた。

- イ. 開催期間 5月21日(木)～6月28日(日) 【会期：34日間】  
※当初予定：4月25日(土)～6月28日(日)の56日間であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の臨時休館により、開催を5月21日からに変更し、会期を22日間短縮した。
- ウ. 印刷物 チラシに展示リスト等を掲載し配布。
- エ. 学芸員・音声ガイドによる展示解説  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず、展示室で解説動画を放映した。

## ②冬季特別陳列「南河内の古代寺院と造営氏族」

【総入館者数 19,047名・展示室入館者数 3,455名・展示室 60名/日】

- ア. 開催趣旨 日本列島に仏教が伝わった6世紀以降、7世紀から8世紀にかけて寺院の建立が盛んにおこなわれた。河内は、はやくから渡来文化の定着する環境下で、大和とともにその先達を担った地域であった。この展示では、河内の古代寺院とその造営氏族について、館蔵資料を中心に近隣6機関からの資料も併せて紹介している。
- イ. 開催期間 1月23日(土)～3月28日(日) 【会期：55日間】
- ウ. 印刷物 展示リストを印刷し配布。
- エ. 学芸員・音声ガイドによる展示解説  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず、展示室で解説動画を放映した。

## (4) スポット展示

滋賀県立安土城考古博物館と相互展示をし、スポット展示を開催した。

「木偶－弥生時代の男女の像－」【総入館者数 11,707名・展示室入館者数 4,281名・展示室 93名/日】

- ア. 開催趣旨 滋賀県近江八幡市の史跡大中の湖南遺跡から出土した大小2体の木偶を展示し、弥生時代の倭人の文化や習俗、精神活動の一端を紹介した。
- イ. 開催期間 10月7日(水)～11月29日(日) 【会期：46日間】

## 2. 講演会事業

### (1) 企画展関連の講演会

企画展のテーマに沿って、来館者の歴史文化に対する関心を高めるなど、生涯学習のきっかけづくりのために、講演会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催は下記のみである。

3月14日(日)「歴史学からみた河内の古代寺院」 舘野和己(当館館長) 【参加者数：66名】

### (2) 近つ飛鳥入門講座・土曜講座

#### ①入門講座「もっと知りたい『近つ博』」

常設展示の内容に基づいた基礎的な講座として当館学芸員が実施している。毎月第2土曜日を基本とし、12回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から4月から9月までの全講座を中止した。

【合計6回】

第140回 10月10日(土) 「石の種類とその利用」 東藤隆浩(当館学芸員) 【46名】

※台風による大雨警報により臨時休館したため2月13日に実施

|       |           |                             |       |
|-------|-----------|-----------------------------|-------|
| 第141回 | 11月14日(土) | 「古墳時代の服飾」島崎久恵(当館総括学芸員)      | 【26名】 |
| 第142回 | 12月12日(土) | 「竪穴式石室の特徴」市村慎太郎(当館総括学芸員)    | 【29名】 |
| 第143回 | 1月9日(土)   | 「古墳時代にみられる地震の痕跡」東藤隆浩(当館学芸員) | 【24名】 |
| 第144回 | 2月13日(土)  | 「古墳づくりを支えたムラ」市村慎太郎(当館総括学芸員) | 【46名】 |
| 第145回 | 3月13日(土)  | 「瓦が語ること」島崎久恵(当館総括学芸員)       | 【46名】 |

## ②土曜講座「オーサカ発 調査研究最前線」

学芸員による最新の研究成果を伝える場として実施した。毎月第4土曜日を基本とし、全12回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から4月から9月までの全講座を中止した。

【合計6回】

|       |           |                                    |       |
|-------|-----------|------------------------------------|-------|
| 第130回 | 10月24日(土) | 「古市古墳群にある小規模墳の特徴」市村慎太郎(当館総括学芸員)    | 【65名】 |
| 第131回 | 11月28日(土) | 「墳丘規模と形態からみた古市古墳群」廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長) | 【62名】 |
| 第132回 | 12月19日(土) | 「古墳時代のカマドと生活様式」島崎久恵(当館総括学芸員)       | 【21名】 |
| 第133回 | 1月23日(土)  | 「古墳出土の椅子形製品について」玉井功(当館客員学芸員)       | 【24名】 |
| 第134回 | 2月27日(土)  | 「河内の古代寺院と渡来人」廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長)      | 【70名】 |
| 第135回 | 3月27日(土)  | 「藤井寺市青山古墳群を考える」市村慎太郎(当館総括学芸員)      | 【43名】 |

## 3. 学校教育との連携事業

### (1) 校外学習受入れ・体験学習

校外学習を積極的に受入れた。例年、展示物の見学だけではなく、ペーパークラフト・勾玉工房等のワークショップおよび展示品の修羅(古墳時代の運搬具)の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘(一須賀古墳群)のウォークラリーを実施している。古墳・飛鳥文化に親しみをもってもらい、また、展示物の理解を助けるための取り組みを行っている。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から9月より受け入れを再開した。

- ・小学校 〈羽曳野市〉古市〈東大阪市〉藤戸 【2校 4クラス 入館者数：140名】
- ・中学校 〈大阪市〉上宮学園・浪速〈東京都世田谷区〉田園調布学園 【3校 12クラス 入館者数：458名】
- ・高等学校 〈東京都町田市〉和光 【1校 1クラス 入館者数：30名】

### (2) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用促進のための営業などを行った。

### (3) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。但し、新型コロナウイルス感染症拡大により校外学習の大半は中止となった。

### (4) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場を利用して音楽会を開催し、親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場とすることを目的に、地元高校生に軽音楽部の発表の場を提供し、他学校との交流の場ともなることをめざした。春季、

秋季2回開催予定であったが、4月29日（水祝）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となり、中止となった。

11月3日（火祝）

（出演高校）大阪府立富田林高等学校・初芝富田林高等学校・大阪府立長野高等学校・大阪府立藤井寺高等学校・阪南大学高等学校・大阪府立河南高等学校

【6校 参加者数：160名】

## （5）「博物館 in school」事業

### 出前授業

小学校、中学校、高等学校に教育専門員・学芸員が出向き、ワークショップ（体験学習）を通じて、古墳・飛鳥文化の理解を深め、館に親しみを持ってもらうよう努力した。中学校・高等学校ではキャリア教育の一環として、博物館の仕事について紹介なども行っている。

#### ・小学校

【18校33回 実績：1,138名】

〈大阪市〉中津・森ノ宮・中央・九条東・南港光・巽南・平野〈堺市〉竹城台・大仙西（2回）・北八丁〈太子町〉磯長〈富田林市〉富田林〈枚方市〉川越・樟葉北〈守口市〉八雲〈八尾市〉高見南〈兵庫県伊丹市〉鴻池

#### ・中学校

【4校7回 実績：210名】

〈河内長野市〉清教学園〈大東市〉谷川（2回）〈羽曳野市〉はびきの殖生学園

## （6）博学連携事業

### ①教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深める計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送った。

### ②大学生博物館学実習および芸術大学実習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。また、大阪芸術大学のさまざまな実習の場として、博物館を活用していただいた。

8月8日（土）～12日（水）「博物館実習」

【11大学 21名】

大阪大学・京都芸術大学・近畿大学・摂南大学・帝塚山学院大学・同志社大学・奈良女子大学・奈良大学・武庫川女子大学・龍谷大学・和歌山大学

### ③大学生・高校生・中学生の職場体験学習

大学生・高校生・中学生を受け入れて博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考となる体験を支援する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施できなかった。

### ④地元大学との連携

大阪芸術大学との博学連携活動の場として博物館を活用していただいた。当館所蔵品の撮影、風土記の丘での撮影などを実施したが、展示については新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受け次年度に順延となった。

大阪芸術大学芸術計画学科 プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ

「翠光を纏う時空一勾玉は目覚め、明日を照らすー」

#### ⑤他博物館等と連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業の開催など、相互協力した事業を進めている。但し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で共同事業を中止した。

#### ⑥国内・海外の研究者との学術交流

大学、教育委員会等研究者と学術交流を行った。

【174 件 199 名（国内 199 名・海外 0 名）、資料調査 7 件 10 回】

### 4. 「でかける博物館」事業

#### （1）出張講座・ワークショップ

公民館等へ出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、地域における歴史遺産の普及活動や成人の生涯学習を支援した。また、近鉄グループ等と連携し、近鉄文化サロンのような講座等を共同で実施し、広報や企画に関して民間の視点から協力を得た。

#### ①近鉄文化サロン でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活 7

|              |                        |        |
|--------------|------------------------|--------|
| 8 月 20 日（木）  | 「古墳築造と人の移動」            | 【38 名】 |
| 10 月 15 日（木） | 「集落出土資料からみた塩生産と流通」     | 【42 名】 |
| 12 月 17 日（木） | 「威信財生産と流通―玉・石製品生産と流通―」 | 【40 名】 |

#### ②四天王寺大学「考古学」―考古学基礎入門―

【履修学生数：37 名】

|              |                                  |
|--------------|----------------------------------|
| 9 月 29 日（火）  | 「考古学入門―考古学とは何か？考古学の歴史や基本的な方法論」   |
| 11 月 17 日（火） | 「古墳時代の考古学（1）―前方後円墳の成立とヤマト王権の伸長」  |
| 11 月 24 日（火） | 「古墳時代の考古学（2）―百舌鳥・古市古墳群の時代」       |
| 12 月 1 日（火）  | 「古墳時代の考古学（3）―古墳時代後期と渡来文化」        |
| 12 月 8 日（火）  | 「飛鳥・奈良時代・平安時代の考古学―宮都と寺院からみた古代世界」 |
| 1 月 19 日（火）  | 「日本と世界の考古学―古代ローマの発掘と世界の遺跡」       |
| 1 月 26 日（火）  | 「近・現代の考古学とまとめ―近代建築と戦争を考古資料から考える」 |

※9/29、12/1、12/8、1/19 は廣瀬時習（当館副館長兼学芸課長）、11/17、11/24、1/26 は市村慎太郎（当館総括学芸員）が担当した。

#### ③ワークショップ他

|              |                               |        |
|--------------|-------------------------------|--------|
| 7 月 5 日（日）   | あべのハルカス「ハニワ貯金箱」               | 【1 名】  |
| 7 月 18 日（土）  | 朝日カルチャー中之島教室「大陸にあこがれた人々（柏原市）」 | 【6 名】  |
| 8 月 2 日（日）   | 道明寺天満宮まなりんく「埴輪づくり」            | 【16 名】 |
| 9 月 12 日（土）  | 白鷹「歴史探訪―長尾街道南の古墳をめぐる」         | 【11 名】 |
| 9 月 19 日（土）  | 朝日カルチャー中之島教室「海を見つめ続ける人々」      | 【5 名】  |
| 9 月 21 日（月祝） | 旧河澄家住宅「埴輪づくり体験」               | 【21 名】 |
| 10 月 17 日（土） | 朝日カルチャー中之島教室「川西の古墳をめぐる」       | 【7 名】  |
| 11 月 7 日（土）  | 島本町人権文化センター「勾玉づくり体験」          | 【34 名】 |



|           |                             |       |
|-----------|-----------------------------|-------|
| 11月 8日（日） | 島本町人権文化センター「勾玉づくり体験」        | 【81名】 |
| 11月21日（土） | 朝日カルチャー中之島教室「王子周辺の古代寺院を訪ねる」 | 【8名】  |
| 12月12日（土） | 白鷹「歴史探訪一東大阪生駒西麓を歩く」         | 【12名】 |
| 12月19日（土） | 朝日カルチャー中之島教室「石切周辺をめぐる」      | 【7名】  |

## （2）出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張ミニ展示を行った。他地域の博物館・資料館との連携による展示を行い、歴史教育の一助とするとともに、当館の認知度アップにもつなげた。

①滋賀県立安土城考古博物館「一須賀古墳群出土の耳環―製作技法と変遷―」 【入館者数：9,051名】

開催期間 10月9日（金）～11月23日（月祝） 【会期：41日】

②大阪府立狭山池博物館「古代の相貌」 【入館者数：9,313名】

開催期間 2月3日（水）～3月7日（日） 【会期：23日】

（2/15～2/22 メンテナンス休館）

## （3）大阪市内等での講演会

当館の活動の府民等への周知と、百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録に関する府民意識の醸成をはかるための講演会の準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見送った。

## （4）れきしウォーク（現地見学会）

学芸員の案内による実地での遺跡見学会を実施し、大阪の歴史を学び、来館の機会を促すことをめざし、各展覧会に関わる見学会の他、大阪府内周辺各地の見学会を実施した。

|           |                                       |       |
|-----------|---------------------------------------|-------|
| 9月27日（日）  | れきしウォーク「墓山古墳とその周辺をめぐる」                | 【41名】 |
| 10月31日（土） | 秋季企画展現地見学会「古市古墳群北東、国府・土師の里の古墳と遺跡をめぐる」 | 【77名】 |
| 12月 5日（土） | れきしウォーク「近つ飛鳥をあるく」                     | 【37名】 |
| 2月20日（土）  | 「河内六寺をめぐる」                            | 【44名】 |
| 3月 6日（土）  | 羽曳野まち歩きガイドの会「河内六寺を歩く」                 | 【21名】 |
| 3月 7日（日）  | 「百舌鳥古墳群東南の古墳をめぐる」                     | 【53名】 |
| 3月13日（土）  | 白鷹歴史探訪「大和古墳群」                         | 【18名】 |

## （5）地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の文化祭等の催しへの積極的な参加については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり多くのイベント等が中止となった。なお、地元河南町と連携した歴史講座を実施した。

令和2年度、府内千早赤阪村教育委員会と連携協定を結び、村内小中学校や千早赤阪村立歴史民俗資料館と連携した事業を進めることとした。具体的には、令和3年度以降の出前授業や連携展示などの教育・普及活動、および調査研究活動などを目指して準備を進めている。

### ①河南町 かなん文化講座

|           |                      |       |
|-----------|----------------------|-------|
| 11月25日（水） | 「深掘り世界遺産～百舌鳥古市古墳群」   | 【17名】 |
| 1月27日（水）  | 「古代の風景～河内の自然環境とその変化」 | 【20名】 |
| 2月24日（水）  | 「南河内の古代寺院と造営氏族」      | 【18名】 |

## 5. 「府民が参加する博物館」事業

### (1) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援した。生涯学習の発表の場として、博学連携などの成果なども含めて、絵画・写真等の展示を行った。

11月17日(火)～11月29日(日) 陵南の森公民館主催 「歴史文化財を描こう」 【入館者数1,270名】

1月10日(日)～1月31日(日) 「このこのアート展」 マコム・プランニング主催 【入館者数2,496名】

### (2) こどもファーストデイ

家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援するために、大阪府の「こころの再生」施策の一環として、毎月第3土曜日に実施を計画した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で上半期は中止、秋以降実施した。

10月17日(土) 「コロコロはにわ」 【4名】

11月21日(土) 「ビー玉落とし」 【14名】

12月19日(土) 「クリくりツリー」 【39名】

3月20日(土祝) 「ゆらゆらゆらりん」 【42名】

### (3) 博物館バックヤード探検ツアー

親子、また一般を対象に、博物館により親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。例年5月、7月、8月、11月に各1～2回程度実施しているが、5月、7月、8月については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

11月1日(日) 【6名】

### (4) 夏休みこども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、リサイクル資材などを活用した工作室の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

### (5) こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを5月3日(日祝)の古墳時代まつりと、7月、8月に計4回程度計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

### (6) 古代衣裳着用体験

古墳時代・古代の復元衣裳を来館者に着用体験していただく企画。イベントや他の行事に合わせて開催し、古墳時代・古代への意識を深めていただくために、計3回程度の実施を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

### (7) ボランティアの活用・募集、地域ボランティア、各種団体との協働

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業等、幅広い分野への支援活動を行っていた。また、南河内地域の観光ボランティアグループとの共同事業を推進している。新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、行事等は中止を余儀なくされ、こどもファーストデイの準備や実施などの僅かな活動に留まっている。

ボランティア活動 登録者15名

【活動日数9日 協力総数24名】



## 6. 近つ飛鳥風土記の丘活用事業

### (1) 風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。毎年5月、11月に各1回程度実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回の実施に留まった。

11月7日(土)

【1名】

### (2) 古墳時代まつり「春の博物館であそぼう」

5月のゴールデンウィークには豊かな自然を持つ風土記の丘を活用し、ウォークラリー・勾玉づくり・森の工作・古代衣裳着用体験などの開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となり中止した。

### (3) うめまつり

風土記の丘の梅開花にあわせて、古代衣裳体験や工作などの体験や物販販売等、地元団体と連携したイベントを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

### (4) さくらまつり

風土記の丘の桜開花にあわせて、古代衣裳体験や工作などの体験や物販販売等、地元団体と連携したイベントを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

## 7. 広報普及事業

### (1) 展覧会、イベント開催のポスターチラシの配布

各展覧会、イベント開催にあわせ、ポスターやチラシを作成し、学校、公民館をはじめ、各機関に配布を実施した。

春季特別陳列(関連施設発送等無し)、夏季企画展、秋季企画展、冬季特別陳列、大阪府立近つ飛鳥博物館・滋賀県立安土城考古博物館連携企画、「でかける博物館」

### (2) マスコミ・ミニコミ誌紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報提供を行った。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて情報を提供した。

【情報提供回数 166 回】

### (3) 機関紙「博物館だより」(アスカディア・古墳の森)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

『博物館だより』Vol. 53 9月30日発行 4,000部

『博物館だより』Vol. 54 3月31日発行 4,000部

### (4) 校外学習の案内

小・中学校および高等学校の校外学習での利用を促すため、校長会等を通じて案内活動を行う予定であったが、大阪府の校長会が新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となったため、文書による案内の送付に変更した。

### (5) 広報の強化

- ・校外学習や出前授業等、博物館活動について、小学校への個別訪問や校長会等を通じて案内した。

【21 件】

- ・近隣市町の協力を得て、広報誌等に当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報を行った。共同運営をおこなう近鉄ビルサービス株式会社のグループとの連携により、関連施設での広報展示、パンフレットへの掲載等、より効果的な広報活動を展開した。
- ・インターネットの博物館情報サイト等を活用した。

報道提供

【4 回】

新聞紙面への記事・広告

【22 回】

インターネット・テレビ放送

【71 件】

## 8. サービス向上事業

### (1) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

よりよい博物館運営を行うため、アンケートを実施し、来館者の要望や展示内容への疑問などの把握に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、通年の館内でのアンケートの配布・記入の実施を見送り、関西文化の日に集中して取り組んだ。 【該当日展示室入場者数 631 名・回答回収数 428 枚】

#### 【意見と対応】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の中で施設を利用する上での改善等。

⇒一部分ではあるが抗菌施工を実施し、コロナ禍における利用環境を整備した。

### (2) ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内など、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。また、facebook 等の SNS を活用した情報発信も継続して進めた。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、外国人来館者の来館が困難なこともあり、取り組みを再検討した。常設展示品の「展示品紹介」をスタートさせた。

また、facebook による博物館紹介を加速させたほか、LINE の公式アカウントを開設し、当館の情報をこまめに発信し、新たな来館者の獲得につなげる努力を始めた。

【ホームページ更新回数 108 回・facebook 更新回数 76 回・LINE 更新回数 11 回】

### ①オンラインを活用した動画の作成・配信

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による移動の自粛等のため来館できない事態などへの対応として、ホームページ、ユーチューブ、フェイスブック等を活用して展覧会の動画を配信した。当館について興味を持っていただき、将来の来館への動機づけや当館展示への理解を促進させた。

8 月 23 日 (日) 夏季企画展「堂山 1 号墳―その被葬者像を探る―」PR 動画

9 月 25 日 (金) 秋季企画展「王権麾下の古墳とその被葬者―古市古墳群の小規模墳―」PR 動画①

11 月 20 日 (金) 秋季企画展「王権麾下の古墳とその被葬者―古市古墳群の小規模墳―」PR 動画②

2 月 27 日 (土) 冬季特別陳列「南河内の古代寺院と造宮氏族」解説動画①

3 月 20 日 (土祝) 冬季特別陳列「南河内の古代寺院と造宮氏族」解説動画②

3 月 27 日 (土) 冬季特別陳列「南河内の古代寺院と造宮氏族」解説動画③

### （３）相談コーナーの設置

週末や企画展等の開催期間を中心に、実物資料に触れることができるコーナーを設置し、かつ、来館者からの文化財に対する様々な疑問に答えていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から閉鎖した。但し、来館者の様々な質問や要望については、受付や展示室内のスタッフ、場合によっては学芸員等が対応した。

### （４）催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成し配布した。

令和２年度月例講座（下半期）チラシ

ミュージアムカレンダー「５～６月号」「７～９月号」「１０～１２月号」「１～３月号」

### （５）学芸員による展示解説

講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行うほか、希望に応じて随時展示解説を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施していない。そのため、企画展の実施に合わせて紹介動画を作成し、ホームページ、フェイスブックを通じて公開した。また、夏季企画展については、展示室内にPCを設置して展示解説映像を放映した。

#### ①八尾市立しおんじやま古墳学習館・堺市博物館・高槻市立今城塚古代歴史館と連携

「大阪の古墳ミュージアムの魅力を知ろう！オンライン見学会」を実施し、博物館及びその展示紹介をインターネットのオンラインミーティングを利用して配信した。 実施日：８月３０日（日）

#### ②八尾市立しおんじやま古墳学習館と連携

「しおんじやま学び場オンライン 2021 年 2 月 14 日、近つ飛鳥博物館を歩く」を実施し、事前収録と当日の実況中継で、展示紹介をYouTube ライブ配信で実施した。 実施日：2 月 14 日（日）

### （６）子どもにもわかりやすい解説

各展覧会で子ども向け解説パネル・リーフレット等を提供した。

各展覧会で、解説パネル「知りたいイヌ」を作成した。

【パネル枚数：7枚】

### （７）音声ガイドの無料貸出

常設展示について日本語（一般・児童）の他、英語・韓国語・中国語の音声ガイドを用意し、外国人利用者への対応を行っている。従来、特別展・企画展においては別途、日本語解説を作成してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、音声ガイドの貸出を停止し、先述のように動画の作成と放映などで代替した。音声ガイドの貸出は、1月から再開した。

### （８）解説リーフレット・シートの配布、図録、館報等の出版

展示観覧の補助となるリーフレットを作成した。展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、展覧会図録等を発行し、関係機関に配付した。また、館のテーマに沿った研究報告、博物館活動についての報告や年間事業記録などを掲載する館報を刊行した。

2回の企画展については、リーフレット・展示図録・解説シートを作成した。2回の特別陳列については、チラシ等に展示品リストを掲載したほか、別途展示品一覧を作成して配布を行った。

『館報』24号 3月31日刊行

## （９）遺跡見学ツアー

旅行会社や鉄道会社と連携し、博物館周辺の遺跡と博物館を見学するツアーや遠方へのツアーを共同企画した。（株）国際交流サービスと協力して、11月21日（土）・22日（日）に秋季企画展にかかわる『百舌鳥・古市古墳群スペシャルツアー』を、当館学芸員が案内して行った。また、2月には南九州の古墳をめぐるツアーを計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職員の派遣を中止した。

## 9. 府施策協力事業

### （１）百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に伴う諸事業への協力

関連遺跡資料を展示し、古墳群の価値やその歴史的意義の理解の促進に協力した。また、館外での関連事業にも積極的に参加する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事等は実施できなかった。

#### ①「おしえてもずふる」百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議事務局と共同

8月8日（土）～8月30日（日） 世界遺産紹介のための展示

#### ②『百舌鳥・古市古墳群スペシャルツアー』（株）国際交流サービスと協力

11月21日（土）・22日（日） 秋季企画展にかかわる百舌鳥・古市古墳群を当館学芸員が案内

### （２）障がい者等への利用援助

支援学校の校外学習に際して柔軟な対応で解説や体験メニューを実施し、障がい者の健康面に配慮し、機器用電源や休憩室を必要に応じて確保した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、支援学校等の校外学習は中止となり、実施していない。

## 10. 管理事業

### （１）日常的管理

指定管理共同企業体の近鉄ビルサービス株式会社と共に、施設管理年間計画を策定し、定期点検等、施設管理を行った。また、経年劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し、所管課（大阪府教育庁文化財保護課）に改善を提案した。急を要するものや、来館者の満足度向上に資すると思われるものについては、下記の修理等を実施した。

ア．デジタル指示調節計交換

イ．消防設備不良箇所改修、消火栓ポンプ交換

ウ．パッケージエアコン室内機・室外機洗浄

エ．写真室、修羅室除湿器電源改修

オ．駐車場埋設給水管修理

カ．電灯分電盤内マグネットスイッチ取替

キ．スプリンクラー設備修理

ク．館内主要箇所の抗ウイルスコーティング施工（新型コロナウイルス感染症対策）

### （２）図書資料管理・収集

学術図書の計画的購入等、資料管理し、収集に努めている。各博物館・各都道府県・市町村から寄贈され

た図書を登録し、書庫へ配架した。また来館者に文化財に関しての研究・探究心を深めていただくため、普及啓発用図書や学術図書を計画的に購入し、書籍閲覧コーナーの充実を図った。 【登録図書数 1,895 冊】

### （３）館蔵資料の管理、学術的整理、保管

所蔵資料の適切な管理を実施した。重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品などについては、所蔵者、研究機関を交えた定期的な点検を実施した。また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理作業を行った。

11 月 30 日（月）京都大学考古学研究室「紫金山古墳・南塚古墳」点検

2 月 17 日（水）国重要文化財「修羅」定期点検

### （４）館蔵資料の貸出

保管する収蔵資料を幅広く活用するために、他の博物館等からの要請により貸出しを行った。

館蔵資料 貸出件数 7 件

館蔵画像等貸出件数 48 件

### （５）学芸研修

博物館の管理・運営に資するため職員を会議や研修に参加させる予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修自体が中止や延期となった。

### （６）客員学芸員制度

展示企画・研究活動について実務面で人的な協力体制をつくり、より充実したものとするため、客員学芸員を委嘱している。今年度も昨年度に引き続き 1 名に委嘱して実施した。土曜講座において最新研究紹介のほか、館報等への執筆、出張講座などにも取り組んだ。

### （７）ミュージアムスタッフの人材育成

「府立博物館における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」に従って博物館を安全に運営するため、来館者に対する応対を朝礼等で共有した。

人と人とのふれあいを大切にし、心地よい博物館を目指して、来館者に対する応対を朝礼等で共有した。受付や展示室内におけるコミュニケーションの充実のため、企画展・特別陳列等については、開催に合わせてスタッフへの展示解説を実施し、来館者の質問等に積極的に対応できるような取り組みを行った。

### （８）人権研修・消防訓練研修

職員の人権研修を実施し、障がい者などへの対応などを研修した。また、消防計画に基づいて自衛消防訓練を実施した。

1 月 26 日（火） 人権研修・消防訓練

### （９）近つ飛鳥風土記の丘の管理

#### ①日常的管理

園路およびみどりの広場の草刈りおよび清掃、園内施設の清掃等を実施した。また、劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し、所管課（大阪府教育庁文化財保護課）に改善を提案し、修繕につなげた。

【風土記の丘利用者数 114,508 名】

ア．ナラ枯れ等により立ち枯れした樹木の伐採

イ．梅林補修工事

## ②禁止行為に係る点検

損壊、損傷等の行為に係る点検を行った。

## ③全国風土記の丘協議会への参加

協議会へ出席し、各地の風土記の丘の活用について情報収集を図っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため広島県立みよし風土記の丘での現地開催が中止となり、書面による開催となった。

## 11. 入館者数及び入館料一覧

(令和2年度)

| 区 分    | 入館者数（名） |       |        |           |        | 入館料<br>（円・税込） | 開館<br>日数<br>（日） | 風土記の丘<br>利用者数<br>（名） |
|--------|---------|-------|--------|-----------|--------|---------------|-----------------|----------------------|
|        | 展示室     |       |        | 普及<br>ゾーン | 総数     |               |                 |                      |
|        | 有料      | 無料    | 計      |           |        |               |                 |                      |
| 常 設 展  | 1,591   | 654   | 2,245  | 8,896     | 11,141 | 421,100       | 75              |                      |
| 割合（％）  | 17.5    | 10.8  | 14.8   | 21.8      | 19.9   |               |                 |                      |
| 春季特別陳列 | 1,185   | 353   | 1,538  | 3,863     | 5,401  | 290,540       | 34              |                      |
| 割合（％）  | 13.0    | 5.9   | 10.2   | 9.5       | 9.7    |               |                 |                      |
| 夏季企画展  | 1,721   | 1,652 | 3,373  | 4,603     | 7,976  | 612,070       | 44              |                      |
| 割合（％）  | 18.9    | 27.3  | 22.3   | 11.3      | 14.3   |               |                 |                      |
| 秋季企画展  | 1,829   | 2,695 | 4,524  | 7,854     | 12,378 | 634,030       | 49              |                      |
| 割合（％）  | 20.1    | 44.7  | 29.9   | 19.2      | 22.1   |               |                 |                      |
| 冬季特別陳列 | 2,775   | 680   | 3,455  | 15,592    | 19,047 | 768,240       | 55              |                      |
| 割合（％）  | 30.5    | 11.3  | 22.8   | 38.2      | 34.0   |               |                 |                      |
| 合 計    | 9,101   | 6,034 | 15,135 | 40,808    | 55,943 | 2,725,980     | 257             | 114,508              |
| 割合（％）  | 100     | 100   | 100    | 100       | 100    |               |                 |                      |

<年度比較>

|              |        |        |        |        |        |           |     |         |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|-----|---------|
| 令和元年度<br>実績  | 14,661 | 12,380 | 27,041 | 52,224 | 79,265 | 5,176,720 | 258 | 97,302  |
| 平成30年度<br>実績 | 14,235 | 17,306 | 31,541 | 64,470 | 96,011 | 4,882,670 | 304 | 89,287  |
| 平成29年度<br>実績 | 16,004 | 16,326 | 32,330 | 64,714 | 97,044 | 6,263,200 | 304 | 105,881 |

※臨時休館

4月1日(水)～5月20日(水)の43日間

7月8日(水)・9日(木)

10月10日(土)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

大雨(土砂災害)警報発令のため

大雨(土砂災害)警報発令のため



## VI 泉佐野市立歴史館いずみさの事業

### 1. 文化財展示公開事業

#### (1) 常設展示

泉佐野を代表する歴史遺産である中世荘園の日根荘の時代をテーマにした展示をした。その時代の人びとのくらしなどを当時の絵図や日記、荘園模型をもとに紹介した。

3月3日(火)～5月18日(月)、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館とした。

#### (2) 特別展・企画展

新規の来館者の裾野を広げるとともに、来館者の歴史文化に対する知的満足度をさらに高めるため、特別展・企画展を下記のとおり開催した。

##### ①春季企画展「新収蔵資料展」

【入館者数：347名 10名／日】

ア. 開催趣旨 当館は平成8(1996)年に開館して以降、市民のご協力のもと、農具・民具・古文書・美術作品など数多くの資料が寄贈されている。本展示では平成28年度から令和元年度までに寄贈された新資料を中心に、様々な資料を幅広く展示することにより、歴史館が担っている文化財資料の収集・保存業務の重要性を発信した。

イ. 開催期間 4月18日(土)～6月28日(日)

【会期36日間】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月3日(火)～5月18日(月)臨時休館

ウ. 印刷物 ポスター・ちらしの作成

エ. 広報 本展のポスター・ちらしを泉佐野市内の公共施設を中心に配布し、広報活動を行った。また、泉佐野市政記者クラブに情報提供するとともに、ミニコミ誌などを用い、広く本展をPRした。フェイスブック・ツイッターを用いて本展に関する催し案内を行い、本事業を広報した。

##### ②夏季特別展「江戸時代の屋敷図と占い書～恵方・鬼門と家相～」

【入館者数：1,036名 18名／日】

ア. 開催趣旨 疫病の流行や災害に苦しんだ人々は、占いや家相を学び、凶事を避け幸運に恵まれることを願った。また、金運・出世運・恋愛運などの運勢は、江戸時代から現在に至るまで人々の心の拠り所となっている。運勢を気にする民衆心理、家の増改築や冠婚葬祭で意識する吉方とはなにか、江戸時代の占い道具や占いの教本、各名家に伝えられる屋敷図を展示し、江戸時代における運命観や、占いに対する認識に迫った。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため早期閉幕となった令和元年度冬季企画展の再開

イ. 開催期間 7月11日(土)～9月20日(日)

【会期59日間】

ウ. 印刷物 ポスター・ちらしの作成

エ. 展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行うほか、希望に応じて随時展示解説を行った。

7月17日(金)、8月19日(水)、8月29日(土)、8月30日(日)、9月12日(土)、9月13日(日)

【参加者数：計54名】

オ. 広報 本展のポスター・ちらしを泉佐野市内の公共施設を中心に配布し、広報活動を行った。また、泉佐野市政記者クラブに情報提供するとともに、ミニコミ誌などを用い、広く本展をPRした。フェイスブック・ツイッターを用いて本展に関する催し案内を行い、本事業を広報した。

### ③秋季特別展「天下分け目の樫井合戦～中世から近世へ～」

【入館者数：1,165名 18名／日】

ア. 開催趣旨 交通の要衝であった泉佐野。泉佐野の樫井地区で起こった樫井合戦は豊臣と徳川の決戦の緒戦というだけでなく、泉佐野における中世社会終焉のはじまりとしての意義も持つ。本展示では、大坂夏の陣の緒戦となった樫井合戦や、中世末期の泉佐野の様相を知ることが出来る古文書、資料を中心に展示し、中世から近世へ移行するきっかけとなった天下分け目ともいえる樫井合戦の意義について考えた。

イ. 開催期間 10月10日（土）～12月27日（日）

【会期66日間】

ウ. 印刷物 ポスター・ちらし、リーフレットの作成

エ. 展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行うほか、希望に応じて随時展示解説を行った。

10月11日（日）、10月20日（火）、10月25日（日）、10月29日（木）、10月31日（土）、  
11月15日（日）、11月17日（火）、11月18日（水）、11月20日（金）、11月22日（日）、  
11月29日（日）、12月1日（火）、12月6日（日）、12月23日（水）【参加者数：計50名】

オ. 広報 本展のポスター・ちらしを泉佐野市内の公共施設を中心に配布し、広報活動を行った。また、泉佐野市政記者クラブに情報提供するとともに、ミニコミ誌などを用い、広く本展をPRした。フェイスブック・ツイッターを用いて本展に関する催し案内を行い、本事業を広報した。

### ④冬季企画展「タオル誕生—和泉木綿の紡いだ軌跡—」

【入館者数：891名 19名／日】

ア. 開催趣旨 江戸時代以降「和泉木綿」と呼ばれ、名を馳せた泉州地域の木綿は、明治以降品質・生産量が向上した。やがて佐野村の里井圓次郎がタオル製織に成功し、木綿の一大産地泉佐野は全国一のタオル産地へと発展を遂げる。本展示では、泉佐野で誕生したタオル業のルーツとなる「和泉木綿」からタオル誕生に至るまでの軌跡をたどり、日本のタオル産業の原点を振り返った。

イ. 開催期間 令和3年1月23日（土）～3月21日（日）

【会期47日間】

ウ. 印刷物 ポスター・ちらし、リーフレットの作成

エ. 展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行うほか、希望に応じて随時展示解説を行った。

令和3年2月21日（日）、2月24日（水）、2月27日（土）、2月28日（日）、3月18日（木）

【参加者数：計58名】

オ. 広報 本展のポスター・ちらしを泉佐野市内の公共施設を中心に配布し、広報活動を行った。また、泉佐野市政記者クラブに情報提供するとともに、ミニコミ誌などを用い、広く本展をPRした。フェイスブック・ツイッターを用いて本展に関する催し案内を行い、本事業を広報した。

## (3) エントランスホール展示

### ①歴史館ギャラリー（市民連携活動）

市民の創作活動の発表をする場として、また他自治体と連携した展示を行う歴史館ギャラリーとして、絵画、写真等の作品展を自主事業として実施した。

ミニ展示「水引展—泉州の工芸品—」

【入館者数：1,368名 13名／日】

ア. 開催趣旨 我が国に「水引」が伝えられたのは約1400年前であり、江戸時代に入り一般に庶民に普及



すると、水引は慶び事には欠かすことの出来ないものとなった。本展示では、アート水引むすびの会・佐野裕子氏による水引作品を展示し、水引の歴史を見直すとともに、現代美術作品としての水引に親しんでもらう機会として開催した。

イ. 開催期間 5月19日（火）～9月15日（火）

【会期：100日間】

## ②日根荘コーナー

写真パネル等による展示で、日根荘の重要性、歴史を知ってもらうコーナーを設置した。

## ③図書閲覧コーナー

郷土史の理解を深めるため、郷土の歴史文化を中心とした図書を集めて市民が自由に閲覧できるコーナーを設けた。

## 2. 講演会事業

### （1）特別展・企画展関連の講演会

特別展・企画展のテーマに沿って、来館者の歴史文化に対する関心を高めるなど、生涯学習のきっかけづくりのために、講演会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み、定員を減とし、同一内容の講演を2回実施した。

#### ①夏季特別展講演会

8月29日（土）、8月30日（日）

「江戸時代の古いブーム～泉州・紀北を中心に～」細田慈人（当館学芸員）

【参加者数：計38名】

#### ②秋季特別展講演会

第1回 11月15日（日）、11月17日（火）

「中世城郭から近世城郭へ」西村 歩（当館副館長）

【参加者数：16名（11月15日中止）】

11月15日中止により、令和3年1月26日（火）、1月31日（日）に追加実施

【参加者数：計31名】

第2回 12月6日（日）「発掘調査からみる大坂城」

鹿野 塁（公益財団法人大阪府文化財センター）

【参加者数：21名】

#### ③冬季企画展講演会

令和3年2月27日（土）「毛布誕生—和泉木綿の紡いだもう一つの軌跡—」

奥野美和（泉大津市教育委員会生涯学習課）

【参加者数：21名】

#### ④冬季企画展関連講座

令和3年2月24日（水）、2月28日（日）「タオル業発展史と泉佐野」

大松さやか（当館学芸員）

【参加者数：計41名】

### （2）学芸員による展示解説

講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行うほか、随時展示解説を実施した。

### （3）館長講演会

日本遺産ガイドダンスセンター竣工を記念し、坂井秀弥館長による講演会を行った。

令和3年1月30日（土）「今に生きる中世日根荘の遺産～史跡から日本遺産へ～」

【参加者数：19名】

### （4）歴史学講座

宗教史・文化史編、寺院編に分けて開催した。今年度の文化・宗教史編では、昨年度に引き続き、修験

道と陰陽道についてや安倍晴明の伝説、年中行事の由来などを取り上げた。寺院編は仏像の基礎知識・鑑賞ポイントを楽しく学ぶ講座を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み、定員を減とし、同一内容の講座を2回実施した。

①「歴史学講座 宗教史編 陰陽道史特論Ⅱ～陰陽道・神道・民間信仰～」

全3回 細田慈人（当館学芸員） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い全て中止

第1回 5月13日（水）、5月17日（日）「神道の成立と陰陽道祭」

第2回 6月10日（水）、6月14日（日）「陰陽師と神祇官」

第3回 7月8日（水）、7月12日（日）「九条家と陰陽道①-九条兼実と地震-」

②「歴史学講座 宗教史編 陰陽道史特論補遺」 全2回 細田慈人（当館学芸員）

第1回 7月22日（水）、7月25日（土）「修験道と様々な信仰」 【参加者数：計37名】

第2回 8月8日（土）、8月12日（水）「牛頭天王信仰と陰陽道の神」 【参加者数：計31名】

③「歴史学講座 宗教史編 陰陽道史特論補遺 安倍晴明伝説」 全2回 細田慈人（当館学芸員）

第1回 9月2日（水）、9月9日（水）「安倍晴明伝承の子孫と伝説」 【参加者数：計31名】

第2回 9月18日（金）、9月25日（金）「安倍晴明伝説の流布」 【参加者数：計31名】

④「歴史学講座 文化史編 年中行事と祭祀」 全2回 細田慈人（当館学芸員）

第1回 12月23日（水） 「年中行事の由来と宮廷文化」 【参加者数：20名】

第2回 令和3年1月27日（水） 「平安時代の五節供と神事・仏事」 【参加者数：20名】

⑤「歴史学講座 文化史編 民衆の恋占いと境の紙」 全2回 細田慈人（当館学芸員）

第1回 令和3年2月19日（金） 「櫛占・タ占と和歌の神」 【参加者数：20名】

第2回 令和3年3月19日（金） 「辻占いとチマタの神」 【参加者数：18名】

⑥「歴史学講座 寺院編」 全2回 大松さやか（当館学芸員）

第1回 10月28日（水）、10月31日（土）、12月18日（金）「仏像をよみとく」 【参加者数：計51名】

第2回 令和3年3月14日（日）、3月16日（火）

「根来寺のみほとけ一大伝法堂三尊像」 【参加者数：計42名】

（5）古文書講座

①夏季特別展古文書講座 「展示史料を読む」 全2回 細田慈人（当館学芸員）

第1回 8月15日（土）、8月22日（土）「江戸時代の家相判断」 【参加者数：計26名】

第2回 9月6日（日）、9月13日（日）「江戸時代の家相判断」 【参加者数：計29名】

②秋季特別展古文書講座 「展示史料を読む」 全2回 細田慈人（当館学芸員）

第1回 11月22日（日）、11月29日（日）「文書で見る中世と近世の泉佐野」 【参加者数：計30名】

第2回 12月20日（日）、12月27日（日）「文書で見る中世と近世の泉佐野」 【参加者数：計33名】

（6）学芸員の出張講演・講座

他施設において、講演会等を実施し、歴史館いずみさのの知名度アップを図り、来館を促進した。

①近鉄文化サロン 6月18日（木） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止

②佐野公民館

8月8日（土）「葛城修験二十八宿と七宝瀧寺」 細田慈人（当館学芸員） 【参加者数：22名】

10月31日（土）「泉佐野市の城～土丸・雨山城を中心に～」 西村 歩（当館副館長） 【参加者数：15名】

令和3年3月6日（土）「佐野網のはじまりと食野家の廻船業」細田慈人（当館学芸員）

【参加者数：22名】

③長南地区 10月16日（金）観光ボランティア養成講座「長滝の寺社・碑」細田慈人（当館学芸員）

【参加者数：29名】

### 3. 体験学習事業

#### （1）小学校の団体見学受け入れ

各学校と連携し、学芸員が展示解説を行い、展示室での生徒の学習を支援する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当年度は小学校からの要望がなかった。

#### （2）出前授業

幼稚園児から高校生に至るまで、館や郷土の歴史・民俗に親しみをもってもらうため、学芸員等が学校に出かけ、体験学習等を行った。

＜泉佐野市＞長南小学校、第二小学校、日根野小学校、佐野台小学校

【4校4回：計343名】

#### （3）れきし館ワークショップ

毎月2回をめぐり、主に土曜日に児童向けの体験学習事業を開催した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い4月～6月は中止

4月18日（土） 「イースターエッグをつくろう！」

5月2日（土） 「こいのぼりをつくろう！」

5月23日（土） 「ダンボール織でコースターをつくろう！」

6月6日（土） 「昔のすごろくで遊ぼう！」

6月20日（土） 「プラバンでキーホルダーをつくろう！」

7月4日（土） 「七夕飾りをかざろう！」

【参加者数：6名】

7月26日（日） 「うちわをつくろう！」

【参加者数：5名】

8月1日（土） 「ダンボール織でコースターをつくろう！」

【参加者数：1名】

8月9日（日） 「プラバンでキーホルダーをつくろう！」

【参加者数：15名】

8月16日（日） 「くるくるレインボーをつくろう！」

【参加者数：16名】

8月23日（日） 「紙すきでハガキをつくろう！」

【参加者数：12名】

9月5日（土） 「行灯をつくろう！」

【参加者数：9名】

9月19日（土） 「昔のすごろくで遊ぼう！」

【参加者数：6名】

10月3日（土） 「泥めんこをつくって遊ぼう！」

【参加者数：14名】

10月24日（土） 「折り紙でハロウィンリースをつくろう！」

【参加者数：12名】

11月7日（土） 「歴史館謎解きチャレンジ！」

【参加者数：6名】

11月21日（土） 「土人形をつくろう！」

【参加者数：9名】

12月5日（土） 「絵付けをしてみよう！」

【参加者数：10名】

12月19日（土） 「クリスマス飾りをつくろう！」

【参加者数：20名】

1月9日（土） 「ミニ凧をつくろう！」

【参加者数：19名】

1月24日（日） 「タオル筆で書初めをしよう！」

【参加者数：4名】

|          |                  |            |
|----------|------------------|------------|
| 2月6日(土)  | 「アロマインテリアをつくろう！」 | 【参加者数：12名】 |
| 2月20日(土) | 「つるし雛をつくろう！」     | 【参加者数：24名】 |
| 3月6日(土)  | 「タオルでわらじをつくろう！」  | 【参加者数：13名】 |
| 3月21日(日) | 「イースターエッグをつくろう！」 | 【参加者数：24名】 |

#### (4) でかける歴史館

他施設において、講演会や体験学習事業等を実施し、歴史館いずみさのの知名度アップを図り、多くの方々の来館の促進を図った。

①きしわだ自然資料館 12月13日(日)「和とじ本をつくろう！」 【参加者数：6名】

### 4. 資料収集・提供事業

#### (1) 「れきし相談コーナー」の設置

市民からの歴史・考古学に関する質問や相談等にきめ細やかに対応した。

#### (2) 展覧会、イベント開催のポスターチラシの配布

各展覧会、イベント開催にあわせ、ポスターやチラシを作成し、学校、公民館をはじめ、各機関に配布した。

#### (3) 『歴史通信いずみさの』の刊行

館の活動を報告し、博物館に対する市民の理解を得るため、定期的に『歴史通信いずみさの』を刊行した。

・歴史通信いずみさの Vol. 33 「令和3年度 春季企画展」

#### (4) 歴史館紹介ちらしの配付

出前授業で学校を訪問した際には、生徒各々に来館を促すちらしを配付し、小・中学生を中心とする子どもたちが家族で歴史館に来館する動機づけを進めた。

#### (5) 広報活動の活発な展開

館行事を広く周知するため、フェイスブックやツイッターに行事の告知や実施報告記事を掲載し、泉佐野市の広報誌『広報いずみさの』に行事を随時掲載するほか、泉佐野市政記者クラブに情報提供するとともに、ミニコミ誌などを用い、広くPRした。南海電鉄の情報誌『NATTS』にも情報を提供し、広報活動を充実した。また、新聞社やテレビ局へ情報提供した。

##### ①広報いずみさの

- ・4月号 いずみさの昔と今第292回「歴史館に寄贈された資料①～米作りに欠かせない農具」
- ・5月号 いずみさの昔と今第293回「歴史館に寄贈された資料②～日常生活を支える民具」
- ・6月号 いずみさの昔と今第294回

「歴史館に寄贈された資料③～小川翠村の作画を支えた画材・スケッチ～」

- ・7月号 いずみさの昔と今第295回「疫病と泉佐野」
- ・8月号 いずみさの昔と今第296回「暦と疫病の神、牛頭天王①」
- ・9月号 いずみさの昔と今第297回「暦と疫病の神、牛頭天王②」
- ・10月号 いずみさの昔と今第298回「中世から近世へ」
- ・11月号 いずみさの昔と今第299回「中世から近世へ②」
- ・12月号 いずみさの昔と今第300回「根来寺攻めとその後の泉佐野」
- ・1月号 いずみさの昔と今第301回「和泉木綿のはじまりと展開」

- ・ 2月号 いずみさの昔と今第302回「太鼓機の開発者・松浪米蔵」
- ・ 3月号 いずみさの昔と今第303回「タオル誕生の功労者・里井圓次郎」

## ②南海電鉄の情報誌『NATTS』

- ・ 7・8月号 夏季特別展「江戸時代の屋敷図と占い書～恵方・鬼門と家相～」(不掲載)

## ③取材対応

- ・ 産経新聞社 4月10日(金)「日本遺産登録から1年たった日根荘」
- ・ J:comりんくう 5月12日(火)さのテレ!「春季企画展「新収蔵資料展」」
- ・ 朝日新聞社 5月19日(火) 春季企画展「新収蔵資料展」
- ・ インターネット配信番組 9月30日(水)  
「巡って、映えて、学ぼう「な、なんで泉佐野やねん!ふるさと納税の話とちやいますよ～日本遺産って知ってます?～」
- ・ J:comりんくう 11月6日(金)さのテレ!「秋季特別展「天下分け目の檜井合戦～中世から近世へ～」
- ・ BS-TBS 11月17日(火) 日本遺産「2020日本遺産スペシャル 列島104の鼓動 今こそ知りたい!日本の記憶」
- ・ J:comりんくう 令和3年1月23日(土)さのテレ!「日本遺産ガイダンスセンター」
- ・ 読売新聞社 令和3年2月7日(日) 冬季企画展「タオル誕生～和泉木綿の紡いだ軌跡～」
- ・ J:comりんくう 令和3年3月7日(日)さのテレ!「荘園サミット」

## ④ラジオ出演 泉佐野インターネット放送局「いこらじお」

- ・ 9月11日(金)「トリプル日本遺産のまち泉佐野」
- ・ 令和3年2月18日(木)「歴史館いずみさの紹介、冬季企画展「タオル誕生～和泉木綿の紡いだ軌跡～」

## ⑤インターネットホームページ

【フェイスブック投稿:36回】

【ツイッター投稿:49回】

## (6) 資料等の貸出

当館所蔵の資料(実物・復元・写真・映像等)を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ日根荘をはじめとする泉佐野市に関する情報を発信した。

【資料2件・2点/写真10件・87点】

## (7) 寄贈等された図書の登録

各博物館・市町村等から歴史館へ寄贈等された図書を台帳に登録し、書庫に開架した。

## (8) 満足度調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケートを設置し、講演会ではアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示・講演会への意見等の把握に務めた。

# 5. 人材育成事業

## (1) 博学連携事業の推進

職場体験や博物館実習等の要請を受け入れた。

8月18日(火)～8月22日(土) 和歌山大学 4回生 【2名】

8月18日(火)～8月22日(土) 近畿大学 3回生 【1名】

## (2) ミュージアムスタッフの人材育成研修

公益財団法人日本博物館協会における「博物館における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」に

従って博物館を安全に運営するため、来館者に対する応対を朝礼等で共有した。

### **(3) ボランティア活動（市民が参加する歴史館）**

広く市民ボランティアを募集し、市民とともに博物館事業を推進した。

## **6. 施設管理事業**

### **(1) 資料の保管**

展示室、一般収蔵庫、特別収蔵庫の温度湿度を常時監視し、適温適湿の維持に務めた。一般収蔵庫と特別収蔵庫においては燻蒸処理を年2回実施した。【燻蒸処理実施 6月10日（水）、11月4日（水）】

### **(2) 施設（備品）の維持管理**

館内施設（備品）を適切な状態に保つよう務めた。

館内主要箇所の抗ウイルスコーティング施工を実施した。（新型コロナウイルス対策）

### **(3) 施設の利用許可対応**

研修室の利用許可の対応を行った。

9月4日（金） 泉佐野市教育委員会 小・中学校外国語担当者連絡会 【利用者数：20名】

9月24日（木） 泉佐野市教育委員会 2年次・10年経験者研修 【利用者数：30名】

10月29日（木） 泉佐野市教育委員会 人権教育推進校PTA協議会と市教委との打合せ  
【利用者数：20名】

11月26日（木） 泉佐野市教育委員会 人権教育推進校PTA協議会と市教委との打合せ  
【利用者数：20名】

12月9日（水） 泉佐野市教育委員会 生徒指導委員会・不登校対策サポート委員会合同研修会  
【利用者数：40名】

### **(4) 市との意見交換の実施**

管理運営に関する協議や意見交換を定期的に実施した。

### **(5) 日本遺産ガイダンスセンター工事への対応**

泉佐野市が進める日本遺産の普及啓発事業の一環として、本市の日本遺産を紹介・発信する「日本遺産ガイダンスセンター」を歴史館エントランスホールを改修して設置することに伴い、資料の提供や、工事スケジュールに対応した館の管理運営に協力した。

臨時休館 令和3年1月13日（水）～1月22日（金）

## **7. 書籍の販売協力**

泉佐野市刊行の常設展、特別展の図録等の書籍の販売に協力した。



## 8. 利用者数一覧表

(令和2年度)

| 区 分   | 入館者数<br>(名) | 館外自主事業<br>利用者<br>(名) | 講師依頼による<br>利用者<br>(名) | 合 計               | 開館日数<br>(日) |
|-------|-------------|----------------------|-----------------------|-------------------|-------------|
| 常設展   | 622         | 60                   | 0                     | 682               | 38日間        |
| 割合(%) | 15.2        | 13.9                 | 0                     | 15.0              |             |
| 春季企画展 | 347         | 0                    | 0                     | 383<br>(施設利用36含む) | 36日間        |
| 割合(%) | 9.3         | 0                    | 0                     | 8.5               |             |
| 夏季特別展 | 1,036       | 22                   | 0                     | 1,058             | 59日間        |
| 割合(%) | 25.3        | 5.1                  | 0                     | 23.3              |             |
| 秋季特別展 | 1,165       | 44                   | 6                     | 1,215             | 66日間        |
| 割合(%) | 28.4        | 10.2                 | 100                   | 26.8              |             |
| 冬季企画展 | 891         | 305                  | 0                     | 1,196             | 47日間        |
| 割合(%) | 21.8        | 70.8                 | 0                     | 26.4              |             |
| 合 計   | 4,097       | 431                  | 6                     | 4,534             | 246日間       |
| 割合(%) | 100.0       | 100.0                | 100.0                 | 100.0             |             |

|          |        |       |     |        |       |
|----------|--------|-------|-----|--------|-------|
| 令和元年度実績  | 11,699 | 1,363 | 130 | 13,192 | 288日間 |
| 平成30年度実績 | 10,781 | 1,229 | 217 | 12,297 | 295日間 |
| 平成29年度実績 | 7,399  | 934   | 212 | 10,734 | 294日間 |

※令和2年度 臨時休館

4月1日(水)【3月3日(火)】～5月18日(月) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため  
令和3年1月13日(水)～1月22日(金) 日本遺産ガイドンスセンター工事への対応のため



## Ⅶ 日本民家集落博物館事業

### 1. 展示公開事業

一般府民への普及啓発と博物館の研究成果の公開のために、特別展又は企画展を開催した。また、古民家を一般府民に開放し、市民展示も開催した。

4月8日（水）～5月20日（水）43日間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館とした。

#### （1）常設展示

国指定重要文化財3件、国指定重要有形民俗文化財1件、国登録文化財3件、大阪府指定有形文化財4件、大阪府指定有形民俗文化財1件を展示公開した。「むかしのくらし展示」では民具を展示すると共に昭和30年代の一部屋を再現し、公開した。石臼体験コーナーを併設した。

#### （2）市民展示

地域の文化サークルや団体向けに日向椎葉の民家を開放し、ギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

##### ①「同友会写真クラブ展」

ア. 内 容 豊中市退職教職員者同友会写真クラブによる、民家の写真展。

イ. 開催期間 3月28日（土）～4月5日（日）

##### ②「春のてまり展」

ア. 内 容 日本手まりの会「都てまり」製作による、色鮮やかな手まり作品展。

イ. 開催期間 令和2年4月4日（土）～4月19日（日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、中止。

##### ③「第26回游心会展」

ア. 内 容 豊中を中心に活動する書道会による、書道作品展。

イ. 開催期間 11月17日（火）～11月23日（月・祝）

##### ④「日本のコマいろいろ」

ア. 内 容 墨山巖氏コレクションの日本各地の特色あるコマ展。

イ. 開催期間 1月9日（土）

##### ⑤「市野章子 日本画色紙作品展 『和を飾るを』 愉しむ」

ア. 内 容 市野章子による、新春の風景や草花の日本画色紙作品展。

イ. 開催期間 1月23日（土）～2月23日（火・祝）

##### ⑥「西野誠一切り絵展 御所人形」

ア. 内 容 西野誠一による、御所人形をテーマにした切り絵作品展。

イ. 開催期間 2月27日（土）～3月21日（日）

#### （3）企画展

##### ①「とほるのかいこ日記」

ア. 内 容 当館館長による養蚕の記録を紹介する展示。

イ. 開催期間 10月3日（土）～11月1日（日）

#### (4) 特別公開

##### ①白川の民家2階特別公開

ア. 内 容 普段は見学出来ない白川の民家2階を、ボランティアやスタッフにより公開した。

イ. 開 催 日 9月～11月、3月の第1・第3日曜日 【440名】

##### ②北河内の茶室特別公開

ア. 内 容 普段は見学出来ない茶室内部を、ボランティアやスタッフにより公開した。

イ. 開 催 日 9月～3月の第1・第3土曜日 【116名】

## 2. 講演会解説事業

### (1) 民家解説

展示民家について、ボランティアによる解説を行った。

## 3. 体験学習・学校教育連携事業

### (1) 夏休み親子企画「昔の暮らしについて学ぼう」

#### ①白川郷の2階をのぞいてみよう

ア. 内 容 小学生の親子を対象に白川の民家の屋根裏を公開し解説を行った。

イ. 開 催 日 8月1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)・15日(土)・16日(日)・22日(土)・  
23日(日)・29日(土)・30日(日) 【44名】

#### ②なぞり書きと民家のぬり絵

ア. 内 容 小学生の親子を対象に民家の縁側で、「奥の細道」や童謡などのなぞり書き体験や、民家と昔の暮らしを描いたイラストのぬり絵体験を行った。なお、持ち帰る児童にも対応した。

イ. 開 催 日 7月18日(土)～8月30日(日) 【1名】

#### ③まゆから真綿づくり体験

ア. 内 容 白川民家で小学生の親子を対象に、博物館でとれた蚕のまゆから真綿作り体験を行った。

イ. 開 催 日 8月22日(土) 【6名】

### (2) 季節行事

日本の四季折々の歳時記にちなんだ催しを行った。

| 行 事 名           | 開催期間                   | 開催場所    | 備 考            |
|-----------------|------------------------|---------|----------------|
| お盆飾り            | 8月12日(水)～<br>8月15日(土)  | 日向椎葉の民家 |                |
| 正月飾り            | 1月5日(火)～<br>1月11日(月・祝) | 館内各民家   |                |
| 七草がゆを<br>食べてみよう | 1月5日(火)～<br>1月6日(水)    | 事務所受付   | 七草がゆ進呈<br>各10名 |
| 節分・豆まきを<br>楽しもう | 2月2日(火)～<br>2月3日(水)    | 事務所受付   | 豆小袋進呈<br>各20名  |

|           |                       |         |                |
|-----------|-----------------------|---------|----------------|
| 桃の節句・雛飾り  | 2月13日（土）～<br>3月14日（日） | 越前敦賀の民家 |                |
| みんなのでひな祭り | 3月2日（火）・3日（水）         | 事務所受付   | 雛あられ進呈<br>各20名 |

ぜんざい催しは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、中止。

### （３） 囲炉裏体験

展示民家において、ボランティアによる囲炉裏体験を行った。

### （４） 参加体験型事業

入館者の参加・体験型の催しを行った。

| 体験教室名            | 開催期間                                      | 開催場所     | 指導者<br>参加者数       |
|------------------|---|----------|-------------------|
| 民家の塗り絵・<br>なぞり書き | 7月18日（土）<br>～8月30日（日）                     | 日向椎葉の民家  | 博物館スタッフ<br>1名     |
| まゆから真綿づくり        | 8月22日（土）                                  | 飛騨白川の民家  | 博物館スタッフ<br>6名     |
| はたおり体験           | 10月16日（金）<br>～10月18日（日）                   | 南部の曲家    | SAORI 豊崎長屋<br>30名 |
| コマ遊び             | 9月5日～12月5日、<br>2月20日～3月27日の<br>各土曜日 18回実施 | 日向椎葉の民家前 | ボランティア<br>328名    |
| 紙芝居              | 11月7日～3月4日の<br>各土曜日 20回実施                 | 日向椎葉の民家  | 博物館スタッフ<br>260名   |
| みんなむかしの<br>あそび体験 | 10月17日（土）                                 | 長屋門前広場   | ボランティア<br>105名    |
| 竹細工作り体験          | 3月28日（日）                                  | 長屋門前広場   | ボランティア<br>4名      |

石臼体験、餅つき体験、さもの着付け体験は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、中止。

### （５） 伝統文化体験教室

「こども囲碁クラブ」を通年開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、参加人数を例年の半数以下に抑え、屋外で活動した（10・11・3月のみ実施）。

【176名】

### （６） 校外学習の受け入れ・体験学習

学校団体を中心に、校外学習を積極的に受け入れ、体験学習も実施した。特に小学3・4年においては、小学3年生社会科「昔の暮らし」・4年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した「みんなむかしの暮らし体験学習」を実施した。

#### ・小学校

〈大阪市〉加賀屋東・松之宮・東都島、〈豊中市〉中豊島・豊島北・桜塚・南桜塚・克明・野畑・上野・新

田南・北緑丘・泉丘・小曾根・熊野田（4回）・西丘・北条・緑地、〈吹田市〉桃山台・千里第二・江坂大池、〈茨木市〉玉櫛、〈香芝市〉鎌田、〈橋本市〉きのくに子ども村、〈神戸市〉関西国際学園

【25校 2,380名】

・ 中学校

〈豊中市〉履正社学園豊中

【1校 397名】

・ 高等学校

〈大阪市〉府立今宮高等学校

【1校 7名】

・ その他学校団体等

〈吹田市〉大阪アニメーションカレッジ専門学校・千里聖愛保育センター、〈豊中市〉中央工学校 OSAKA、〈大阪市〉大阪成蹊大学、〈堺市〉桃山学院大学、〈茨木市〉彩都敬愛幼稚園・こどもの園敬愛保育園

【7件 247名】

## 4. 資料収集・提供事業

### （1） 資料収集・研究

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集・研究を行った。

### （2） 展示民家を提供・活用

各種コンサート、お茶会、昔話を聞く会、和太鼓演奏体験等の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、中止となった。「大和十津川の民家」「南部の曲家」「北河内の茶室」は貸部屋として提供し、民家により親しんでもらうための活用を図った。また、時代劇ドラマ、歴史番組、自主製作映画の映像撮影の舞台として、民家等を提供し、活用を図った。全国ネット放送の番組等で、生活感溢れる民家の姿を視聴者に見ていただき、また、様々な映像作品の製作に資することができた。

#### ①テレビ大阪「お墓から見たニッポン season2」

ア. 内 容 古代から近世までの日本人の墓の型式を紹介する番組。源義経や大塩平八郎等、歴史上の偉人のエピソードの再現シーンの舞台として撮影された。

イ. 実施日 7月21日（火）

ウ. 場 所 日向椎葉の民家、大和十津川の民家

#### ②BS TBS「池波正太郎原作 上意討ち」

ア. 内 容 時代劇ドラマに登場する庄屋屋敷として日向椎葉の民家が撮影された。

イ. 実施日 10月20日（火）

ウ. 場 所 日向椎葉の民家

#### ③自主製作映画「戦国のワルキューレ」

ア. 内 容 天王寺区の小劇場で公開予定の映画。宮本武蔵の幼い頃の場面を撮影された。

イ. 実施日 10月24日（土）

ウ. 場 所 南部の曲家

## 5. 人材育成事業

### (1) ボランティア活動の促進

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。「正月飾り作り体験」などの機会を設けてボランティアとのコミュニケーションを深め、活動の促進をはかった。今年度は、64 名が活動した。

### (2) 大学博物館実習

大学の博物館実習生を受け入れ、学習の場を提供し、館の普及活動の一助とした。

桃山学院大学

【受け入れ 6 名】

### (3) 茅葺職人技術研修

公益財団法人全国社寺等屋根保存技術協会からの依頼に応じ、茅葺職人への伝統的技法に関する基礎的知識および技能を習得する研修の場として、大阪府指定文化財 奄美の高倉（旧重光家高倉）を提供し、研修生を受け入れた。あわせて、茅葺フォーラムを開催し、研修生以外の技術者・研究者に研修内容を広く提供した。

研修期間 11 月 25 日（水）～12 月 25 日（金）

#### ①「茅葺きフォーラム」

ア. 内 容 安藤邦廣氏（筑波大学名誉教授）による全国の茅葺民家に関する講演および現地見学

イ. 開催日 12 月 10 日（木）

【48 名】

## 6. 普及・広報事業

### (1) 特別行事

#### ①「宮沢賢治童話語り」

6 月 7 日（日）に開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、中止。

#### ②「みんなむかしのあそび体験」

ア. 内 容 服部緑地 10 月祭への協賛事業として、ワークショップ、パンや点心のテイクアウト出店を行った。博物館ボランティア連携。

イ. 実施日 10 月 17 日（土）

【105 名】

#### ③「秋の敬老フェア」

ア. 内 容 敬老の日にあわせ、65 歳以上の入館料を割引し、博物館の魅力発信に努めた。

イ. 実施日 9 月 19 日（土）～22 日（火祝）

【64 名】

### (2) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を半期毎に作成する予定を新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応し、臨機応変にイベント予定を調整するため、2 ヶ月毎に作成とし、小学校・関係者に配布し広報に努めた。

| 項 目           | 発行月              | 部 数        |
|---------------|------------------|------------|
| 催し案内（9 月～3 月） | 9 月、11 月、1 月、3 月 | 計 15,000 部 |

### (3) インターネットによる広報

当館の概要や催し案内をホームページやフェイスブックで広報した。特に、フェイスブックについては、毎日更新し、イベント、コスプレ来館者、民家クイズ、民家の紹介、季節の花々の画像等多様なジャンルの

画像を掲載し、PRの充実に努めた。

#### (4) 小学校等への広報

小学校への個別訪問や先生への来館案内等を通じて、校外学習・体験学習等、博物館活動の案内をした。

【57 件】

#### (5) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ、FMラジオ、ミニコミ紙、阪急電鉄、北大阪急行電鉄、服部緑地公園管理事務所、都市緑化植物園、服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会等と連携し、効果的な広報に努めた。また、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報の協力を依頼した。NPO 法人シニア自然大学校と連携し、ジュニア自然大学「服部緑地こどもゆめくらぶ」の活動に協力し、博物館の利用促進をはかった。

#### (6) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗」(上・下巻)を頒布した。(民家の案内 71 冊、民俗 2 冊)

また、小中学生向け案内マップ及び英語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップの他、イタリア語案内マップを新たに作成し配付した。

### 7. 保存修理・施設整備事業

#### (1) 大阪府指定文化財 奄美の高倉(旧重光家高倉)保存修理工事

公益財団法人全国社寺等屋根保存技術協会の協力により、屋根の葺き替えを実施した。なお、施工については奄美地方で一般的な逆葺きの工法で実施し、本来の形状に復元した。

#### (2) 国重要文化財 信濃秋山の民家(旧山田家住宅)保存修理工事

経年劣化が進行している秋山の民家について、屋根全面葺替及び部分修理の保存修理工事を実施した。耐震診断調査の結果、地盤・構造に問題がなかったため、その結果を受けて、茅材の購入及び屋根茅の解体作業に着手した。工事は令和3年度までの2か年度事業であり、文化庁の補助金を受けて実施する。

#### (3) 施設整備

展示民家の維持保存に悪影響を及ぼす樹木の伐採、見学者の安全に配慮した園路・階段などの整備を行った。事務所棟裏、信濃秋山の民家横、南部の曲家裏等の枯れ松の伐採作業を行った。

#### (4) 竹林キーパーの活動

ア. 内 容 館内の竹林の伐採、整備活動を専門に行うボランティアが活動を行った。

イ. 活 動 日 6月以降の毎月第1・第3水曜(8月・1月は月1回)

【計 18 回】

## 8. 入館者数及び入館料収入一覧表

(令和2年度)

| 月   | 入館者数<br>(名) | 入館料収入<br>(税込・円) | 施設利用料収入<br>(税込・円) | 開館日数<br>(日) |
|-----|-------------|-----------------|-------------------|-------------|
| 4月  | 923         | 346,850         | 0                 | 6           |
| 5月  | 532         | 172,300         | 0                 | 10          |
| 6月  | 948         | 341,000         | 0                 | 25          |
| 7月  | 952         | 351,150         | 73,000            | 27          |
| 8月  | 604         | 203,800         | 0                 | 26          |
| 9月  | 1,247       | 451,550         | 8,000             | 26          |
| 10月 | 2,817       | 898,600         | 126,000           | 27          |
| 11月 | 3,526       | 1,013,500       | 80,000            | 25          |
| 12月 | 1,327       | 407,200         | 47,000            | 23          |
| 1月  | 922         | 281,300         | 26,000            | 24          |
| 2月  | 2,946       | 1,102,600       | 0                 | 24          |
| 3月  | 3,626       | 1,189,850       | 42,000            | 26          |
| 合 計 | 20,370      | 6,759,700       | 402,000           | 269         |

<年度比較>

|        | 入館者数<br>(名) | 入館料収入<br>(税込・円) | 施設利用料収入<br>(税込・円) | 開館日数<br>(日) |
|--------|-------------|-----------------|-------------------|-------------|
| 令和元年度  | 30,453      | 8,603,850       | 1,041,000         | 304         |
| 平成30年度 | 33,427      | 8,958,150       | 1,249,000         | 300         |
| 平成29年度 | 37,351      | 10,890,350      | 2,134,000         | 305         |

※臨時休館

4月8日(水)～5月20日(水)の43日間(うち通常休館日6日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため